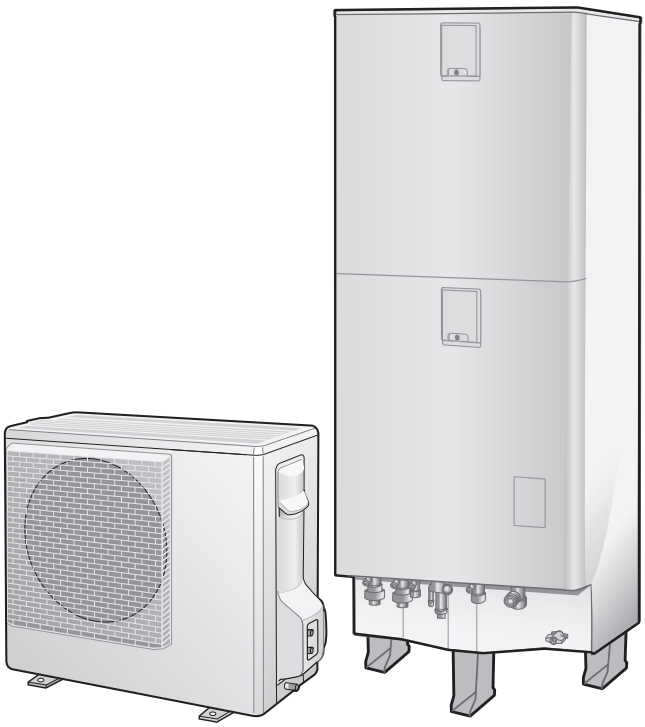
Panasonic

# 工事説明書

## 家庭用ヒートポンプ給湯機
## 〈寒冷地向け〉

| | ■高圧力型フルオート 屋外用 | | ■高圧力型フルオート 屋内用 | |
|---|---|---|---|---|
| システム品番 | HE-L37EQS | HE-L46EQS | HE-L37EQMS | HE-L46EQMS |
| 貯湯ユニット品番 | HE-L37EQ | HE-L46EQ | HE-L37EQM | HE-L46EQM |
| ヒートポンプユニット品番 | HE-PL45E | HE-PL60E | HE-PL45E | HE-PL60E |



### ＊工事をされる方へのお願い

この工事説明書は、工事作業者が正しく、安全な工事をするために必要な手引書です。工事開始前に必ずお読みください。本書の記載事項に従って工事をされなかったことが原因で生じた故障･事故などは､保証の対象になりませんので、ご注意ください。設置工事後、この工事説明書は取扱説明書と一緒に、お客様にお渡しください。

このヒートポンプ給湯機は申請によって、通電制御型としての料金割引が適用されます。電力契約をしている電力会社に、電力契約の申請手続きを行ってください。


ページ

**準備**
- 安全上のご注意 2
- 施工上のお願い 3
- 関係寸法図 4
- 付属品 / リモコン / 専用別売部材 6

**据付**
- 据え付け場所を決める 8
- 据え付ける 10

**配管**
- 配管工事をする前に 12
- 排水配管する 13
- 給水・給湯配管する 14
- ヒートポンプユニット配管する 16
- ふろ配管する 18
- 保温・凍結予防工事する 22

**配線**
- 連絡配線する 24
- リモコン配線する 25
- 電源工事する 26
- アース工事する 27

**点検**
- 試運転する 28
- 水抜きする 36
- チェックシート 37

準　備 1

# 安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

| | |
|---|---|
| ⚠ 警告 | 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。 |
| ⚠ 注意 | 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。 |

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

| | |
|---|---|
| ⃠ | してはいけない内容（禁止事項）です。 |
| ❗ ⏚ | 実行しなければならない内容（強制事項）です。 |

## ⚠ 警告

■貯湯ユニットおよびヒートポンプユニットのアース工事（D 種接地工事）を行う
工事は「電気設備に関する技術基準」および「内線規程」に従って電気工事士が行う
（故障や漏電のときに感電の原因になります）

---

■上水道直結の配管工事は、当該水道局（水道事業管理者）の認定水道工事業者が指定された配管材料を使用して施工する
（事故、故障の原因になります）

■専用のブレーカーを単独で使う
（他の機器と併用したとき、発熱による火災の原因になります）

■電源電線などは接続部に外力が加わらないように確実に取り付ける
（発熱して火災の原因になります）

■連絡線は、途中接続やより線の使用はせず、所定のケーブルを使用して接続する
（故障や発熱、火災の原因になります）

■試運転時に漏電しゃ断器の作動を確認する
（万一の不作動で、故障や感電の原因になります）

■満水重量に十分耐えられる所に据え付ける
（転倒により事故の原因になります）

■工事は必ず指定の部品を使い、工事説明書に従って確実に行う
（火災や感電、水漏れの原因になります）

---

■ガス類容器や引火物の近くに据え付けない
（本体のスパークによる発火の原因になります）

■ヒートポンプユニットは屋内に設置しない
（冷媒が漏れたとき、酸素不足のおそれがあります）

■ヒートポンプユニットはベランダの手すり近くに設置しない
（お子様が登り、手すりを越えるなどして落下のおそれがあります）

## ⚠ 注意

■水道水を使用する
（温泉水や、井戸水を使用すると故障や水漏れの原因になります）

■貯湯ユニットの脚はアンカーボルトで固定する
（地震などによって転倒してけがをするおそれがあります）

■壁面へのネジ固定は、ネジが壁中のラス網と電気的に絶縁した状態で行う
（ネジとラス網との接触部過熱により、火災の原因になります）

■ドレン工事は工事説明書に従って確実に行う
（周囲が浸水し、家財などをぬらす原因になります）

■間接排水工事をする
（タンクの破損による水漏れの原因、また汚水が逆流してタンクに入ると水質の変化により健康を害するおそれがあります）

■下水口などに排水するときは、下水ガスが封水されるように排水工事をする
（下水ガスが逆流して配管が腐食し水漏れの原因になります）

■凍結予防をする
（配管が破損して、やけどや水漏れの原因になります）

---

■屋外用貯湯ユニットを屋内に設置しない
（水漏れによる拡大被害の原因になります）

■防水・排水処理をしていない床面に設置しない
（屋内、階下などに浸水し、家財などをぬらす原因になります）

■小動物のすみかになるところには設置しない
（小動物が機器内に侵入して電気部品などに触れると発煙、発火の原因になります）

■ヒートポンプユニットの吹出口やアルミフィンにさわらない
（けがの原因になります）

準　備 2

# 施工上のお願い

- **ガス機器から電気機器へ変更をする際（ガス給湯機から電気温水器やエコキュートへの取替など）は、事前にガス事業所への連絡が必要になります。ガス事業者への連絡をせずに無断撤去することは法令により規制されておりますのでご注意ください。**
- **次世代省エネ基準（IBEC 発行）の極寒地域では設置しないでください。**
  **（極寒地域とは暖房度・日が 4500 度・日を超える地域）**
- **外気温が－ 20℃までの寒冷地域に設置可能です。**
  **外気温が－ 20℃を下回るおそれがある場合は、「屋内用」貯湯ユニットを屋内に設置してください。**

**※貯湯ユニットは、－ 20℃を下回ると故障のおそれがあります。**
**※ヒートポンプユニットは、－ 20 ～－ 25℃で最高 80℃沸き上げが可能ですが、タンク全量沸き上げできない場合があります。**

各工事の完了後は、チェックシート（P.37 ～ 38）で不具合がないか確認してください。

## 工事について

●貯湯ユニットおよびヒートポンプユニットの設置は、各地域の条例に基づいてください。
●電気工事は「電気設備に関する技術基準」および「内線規程」に従って、必ず指定工事業者が行ってください。
●電源は節電器に接続しないでください。機器故障の原因となります。
●アース（接地）工事は、万一の感電事故防止のため、「電気設備に関する技術基準」および「内線規程」に基づいて、必ず電気工事士による D 種接地工事を行ってください。
●リモコンから貯湯ユニットまでの配線は、リモコンコードと電源電線を 5 cm 以上離して行ってください。
●貯湯ユニット内の配線は、リモコンコードと電源電線を束ねないで行ってください。通話中、異音発生の原因になります。
●上水道に直結する工事は、当該水道局の条例に基づき、認定水道工事業者が指定された配管材料を使って施工してください。
●水は必ず水道法に定められた飲料水の水質基準に適合した水をご使用ください。
井戸水は使用しないでください。また水道水であっても塩分、石灰分、その他の不純物が使用水に多く含まれていたり、酸性水質の地域ではヒートポンプ給湯機の使用をさけてください。ヒートポンプユニット内の熱交換器にスケールが付着し、短期間でお湯が沸かなくなります。
●ソーラー（太陽熱温水）システムには接続しないでください。高温水で機器故障の原因となります。
●貯湯ユニットは必ずヒートポンプユニットと接続してください。
●ヒートポンプユニットは屋外に設置してください。
●配管は接続するまで先端を保護し、異物が入らないようにしてください。

## 配管の材質選定について

●使用地域の水質により、銅管の銅イオンの溶出が多い場合があり、せっけん、湯あかと反応して青色の銅せっけんが生成され、浴そうの水面付近に青い色が付くことがあります。
このような現象が発生するおそれがあるときは銅管は使用せず、当社専用別売部材の樹脂管または三層管をご使用ください。（青い色の付着を軽減できます）

## 給水圧力について

●200kPa 以上の給水圧力が必要です。
給水圧力が低いとシャワーが弱い、追いだきができないなど十分な性能が得られません。
- 圧力計により、1 階で静水圧を測定してください。
給水配管は 20A 銅管または 16A 樹脂管としてください。
（配管径が小さいと水圧が低下します）
測定後、右の方法で確認してください。

●高水圧地域や、給水圧力が 500kPa を超える場合は戸別給水用減圧弁を設けてください。
（水撃音や故障の原因になります）

**・給水圧力の目安の確認方法**
近くの給水栓から水を出し、1 階で、市販のバケツを受けて満水になる時間を測定します。下表の時間内に満水になれば、200 kPa 以上の給水圧力があります。

単位：秒

| バケツ容量 | 8 L | 10 L | 12 L | 15 L |
|---|---|---|---|---|
| 2バルブタイプ・水側全開 | 30 | 37 | 45 | 56 |
| サーモスタットタイプ・水側 | 34 | 42 | 51 | 64 |

バケツの容量は裏面に表示されています。

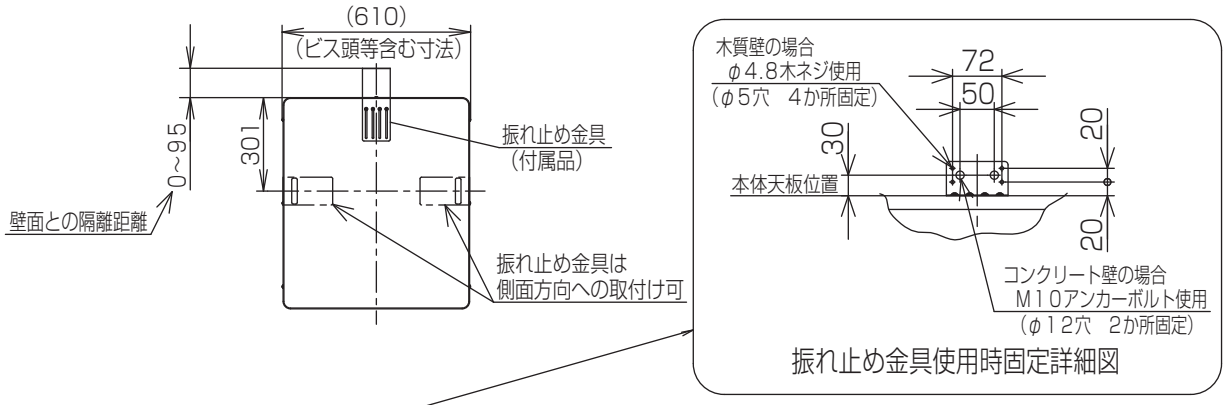
準　備 3

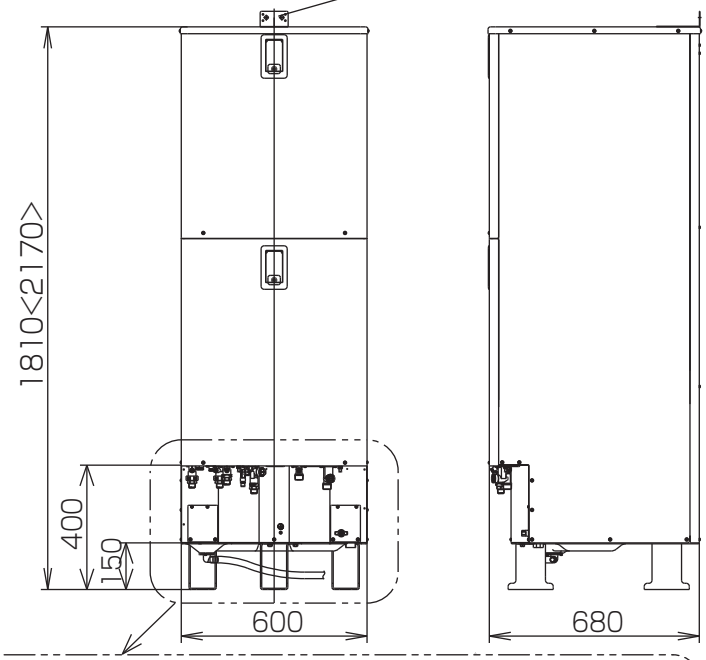
# 関係寸法図

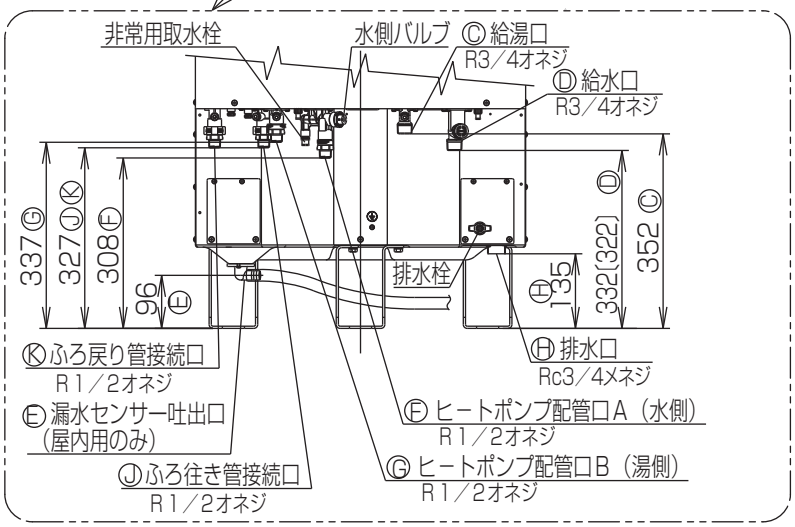
## 貯湯ユニット

### ■ 外形寸法図

〔単位：mm〕



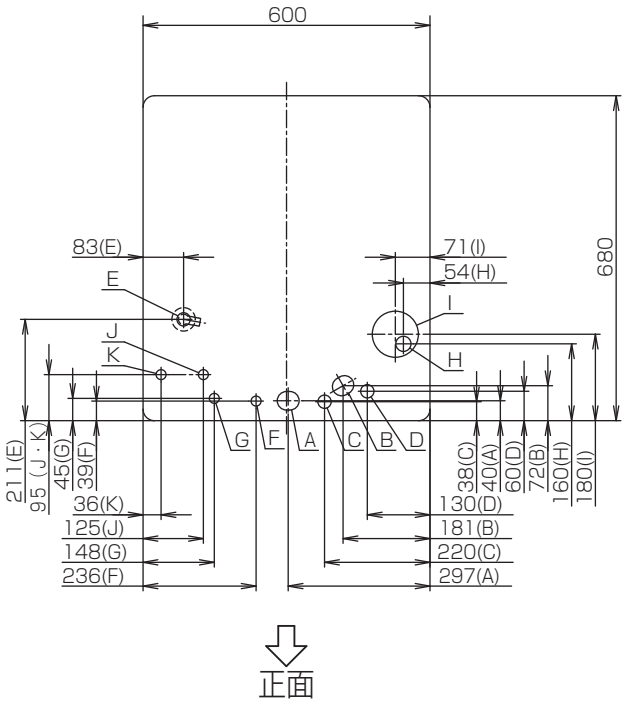



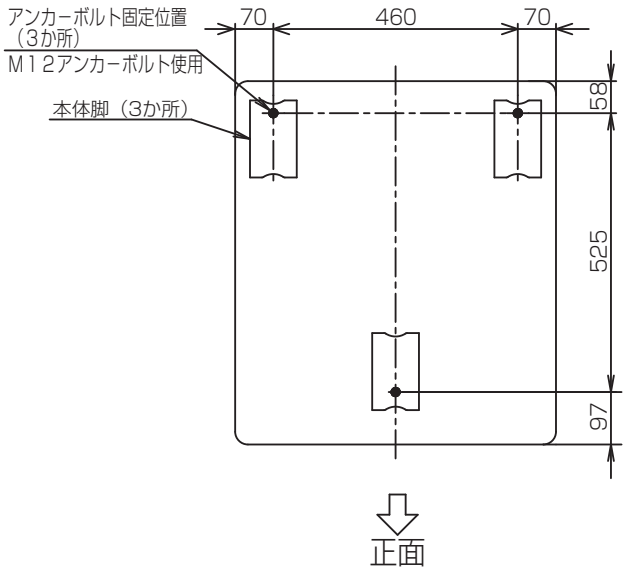

A：リモコンコード貫通穴
（39×46長穴・ブッシング付）
B：電源電線、ヒートポンプユニット連絡配線貫通穴
（39×46長穴・ブッシング付）
C：給湯口　R3／4オネジ
D：給水口　R3／4オネジ
E：漏水センサー吐出口（屋内用のみ）
（エルボ、内径φ16×1m・吐出管付）
F：ヒートポンプ配管口A（水側）　R1／2オネジ
G：ヒートポンプ配管口B（湯側）　R1／2オネジ
H：排水口　Rc3／4メネジ
I：排水エルボ（別売品）位置
J：ふろ往き管接続口　R1／2オネジ
K：ふろ戻り管接続口　R1／2オネジ

1. ＜　　＞寸法は460Lタイプです。
2. Ⓓ寸法〔　〕は屋内用です。

## ■配管位置図




## ■アンカーボルト位置図

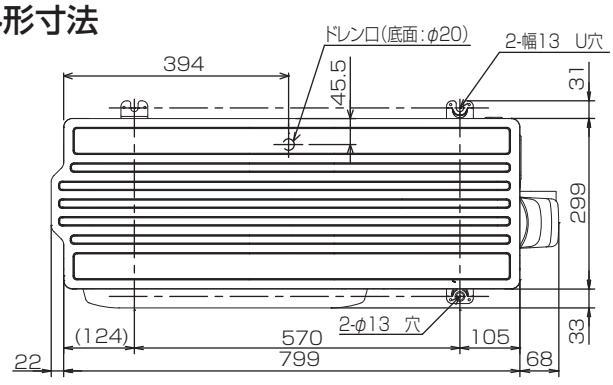


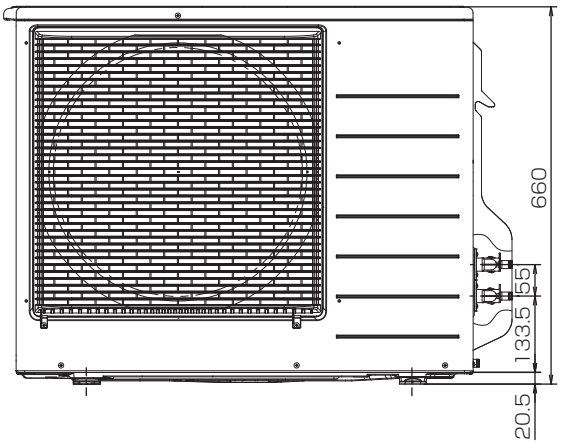

準備

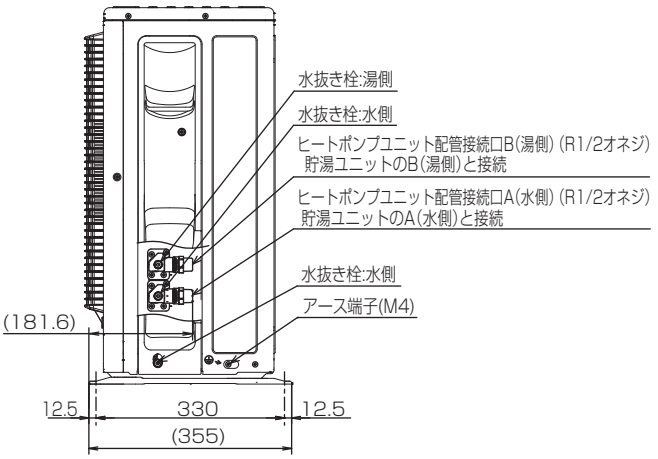
# ヒートポンプユニット〈全機種共通〉

## ■外形寸法

〔単位：mm〕



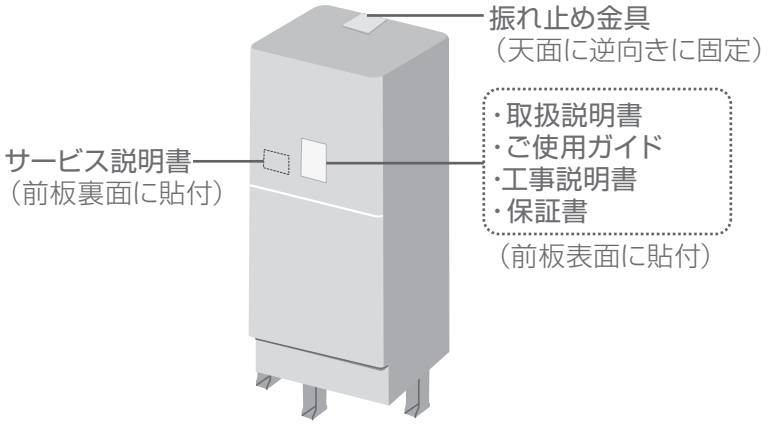



準　備 4

# 付属品/リモコン/専用別売部材

## 付属品




## リモコン（別売品）

このヒートポンプ給湯機は、別売品のコミュニケーションリモコンまたはボイスリモコンが必要です。
また、増設リモコンを追加することができます。

| | コミュニケーションリモコン（台所・浴室リモコンセット） | ボイスリモコン（台所・浴室リモコンセット） | 増設リモコン |
|---|---|---|---|
| フルオート用 | HE-TQFEW | HE-TQVEW | HE-RQVEZ |

# 専用別売部材

■標準施工時の部材一覧（樹脂管配管：ユニット間配管長 5 mの部材組合わせ例）

| 工事名 | 部材名 | | | 品番 | 備考 | 参照ページ |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 据付工事 | アンカーボルトセット | 床・壁用セット（RC用） | | AD-HEAB24R | | 10 |
| | 脚部化粧カバー | 樹脂製 | 3方向 | AD-HEJJ3N-C | | |
| | | | 4方向 | AD-HEJJ4N-C | | |
| | 高置台（高さ 1m） | | | AD-HEC02KHH | | 11 |
| | 防雪屋根 | | | AD-HESG-RF1 | | |
| | 左防雪板 | | | AD-HESG-KL1 | | |
| | 後防雪板 | | | AD-HESG-KB1 | | |
| 排水配管工事 | 排水エルボ（トラップ機能付） | | | AD-HEHTR11 | （※2） | 13 |
| | 排水配管 | | 外径φ60 | 現地調達 | | |
| 給水・給湯配管工事 | 給水配管（架橋PE管） | | 16A | 現地調達 | （※1）三菱樹脂(株)製推奨 | 14 |
| | 給湯配管（架橋PE管） | | 16A | | | |
| | ユニオンアダプター | | 16A | | | |
| | 給水側止水栓 | | | AD-HESB66UA | | |
| ヒートポンプユニット配管工事 | ヒートポンプユニット循環配管セット<br>＜同梱部品＞<br>・耐候性断熱材付架橋PE管　10A-10m<br>・VVFケーブル　Φ2.0x8m　・メタルブッシング　4個<br>・PF管　7m　・断熱材　4個<br>・ユニオンアダプター　4個　・遮光シート　4枚<br>・排水エルボ(トラップ機能付)　1個　・バンド　12本<br>・ドレンチューブ　1個 | | | AD-HHSC10PE | | 16 |
| | 耐候性断熱被覆材 | | | AD-HEC0H1002 | | |
| ふろ配管工事 | ふろ接続アダプター | | S型 | AD-HQSA-ST3 | | 18〜21 |
| | | | L型 | AD-HQSA-LT3 | | |
| | ＜同梱部品＞<br>・タケノコ継ぎ手　4個　・パッキン　4個<br>・バンド　4個 | | | | | |
| | ふろ継手保温材セット（2ヶ入り） | | | AD-HETY-Q3 | | |
| | 断熱材付架橋PE管 | | 13A×50 m | AD-HWPE350D | | |
| | | | 13A×10 m | AD-HWPE310D | | |
| | ユニットバス取付金具 | φ15.88用（2セット入り） | ストレート | AD-HEBC-4SW | | |
| | | | L曲がり | AD-HEBC-4LW | | |
| | 漏れ検査治具 | フルオート用 | | AD-G381-Z | | |
| | 配管化粧版 | | □200 | AD-3700GT-M | | |
| 凍結予防工事 | 凍結予防ヒーター（外部配管用） | | | 現地調達 | （※1）東京特殊電線製推奨 | 22 |
| 電気工事 連絡線 | VVFケーブル | | 3心・50 m | AD-HEVF-A50 | （※2）8 m同梱 | 24 |
| | PF管 | | 50 m | AD-HEC02P50 | （※2）7 m同梱 | |
| 電気工事 リモコン | シールド付きリモコンコード | | 2心・10 m | AD-HERS-210 | | 25 |
| 電気工事 200V電源 | 電源電線・PF管等 | VVF　φ2.0／3.5 mm² | | 現地調達 | | 26 |
| 電気工事 アース | アース棒 | | | AD-3200 | | 27 |

・(※1)　本文に記載の部材を推奨します。
・(※2)　ヒートポンプユニット循環配管セットに同梱されています。
・別売部材の詳細は、パナソニックエコキュートカタログの「専用部材一覧」をご覧ください。
・各部材使用時は、必ず同梱の説明書に従い工事をしてください。

据　付 1

# 据え付け場所を決める

## 据え付け場所を確認する

下記の条件を満たす場所に、お客様の同意のもとで据え付けてください。

● 次の場所への設置は避ける。
　・最低気温が－ 20℃以下になる。
　・湿気が多い、火気・引火物の近く。
　・台風など、強い風が直接当たる場所。
● ヒートポンプユニットは…
　・風通しの良い場所を選定する。
　・運転時は運転音や振動が発生し、吹出口から冷風が出るため、つぎの場所への設置は避ける。寝室や窓の近く、通風口など音の侵入口、壁や塀による反射音が室内に届く場所、これに類似するご近所の迷惑になる場所。
　・テレビや無線機のアンテナから３m以上、テレビや無線機の本体とケーブル線から２m以上離す。
● 水が流出しても支障がなく、防水・排水ができる。排出されるドレン水が排水溝などに導ける。
● 搬入搬出、配管工事、保守点検、性能維持のため、周囲にスペースが確保できる。（P .9）

* 浄化槽などから強い下水ガス（硫化ガス）が出ているところには設置しないでください。（トラップ機能付排水エルボを使用しても機器腐食の原因になります）
* 硫化ガス成分が多い地域、機械油などの油分の多い場所ではヒートポンプユニットの寿命は短くなることがあります。
* 海浜地域で潮風が直接当たる場所や温泉地域など特殊な場所では機器が正常に動作しなくなる恐れがありますので、据え付けないでください。
* 貯湯ユニットは「屋外用」と「屋内用」があります。必ず、ネームプレートを確認して設置してください。（屋内に屋外用を設置した場合、水漏れによる拡大被害の原因になります）

**⚠注意**

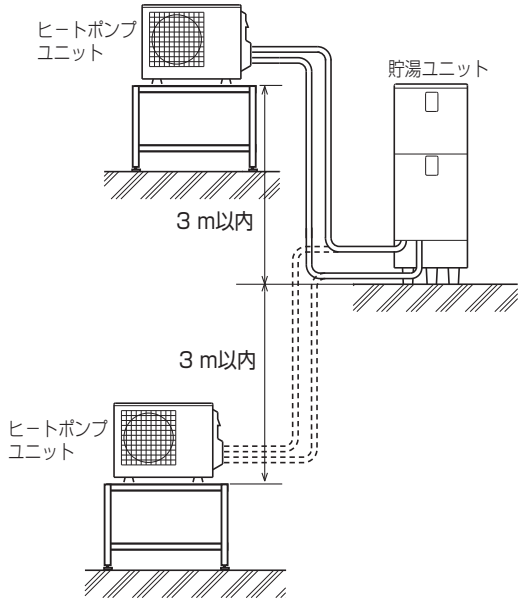
**屋外用貯湯ユニットを屋内に設置しない**

（水漏れによる拡大被害の原因になります）

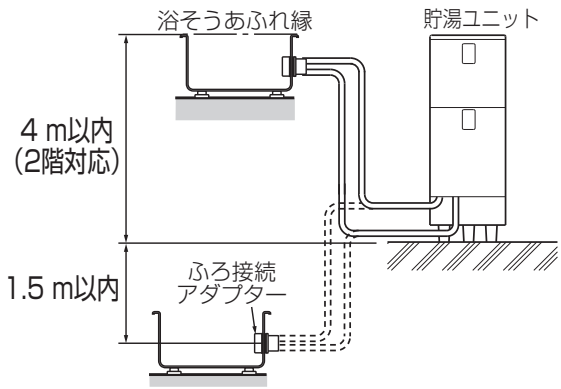
### ■ 貯湯ユニットとの高低差

● 高低差がある場合の配管条件を確認し、据え付け場所を決めてください。

**・ヒートポンプユニットと貯湯ユニット**




**・浴そうと貯湯ユニット**



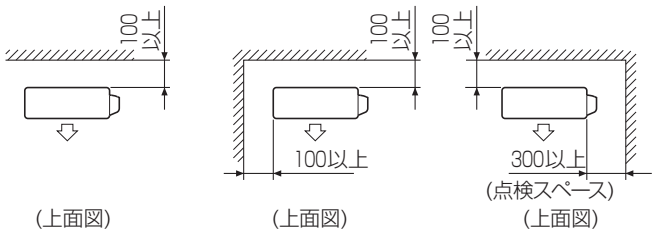
# 据え付けスペースを確認する

据え付け所要スペースは、「配管工事をする前に」(P.12) も参考にして確認してください。

## ■ ヒートポンプユニットの据え付け所要スペース〔単位：mm〕

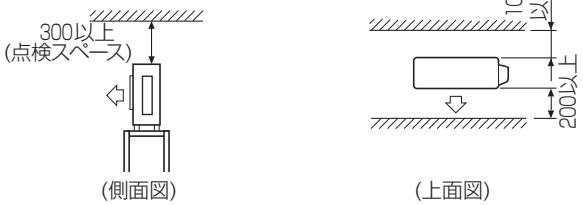
- 吹出側に対して前・後・左・右・上・下のうち少なくとも 3 方向を開放し、通風路を確保してください。
  やむをえず 2 方向しか開放できない場合、沸き上げ能力が低下する場合があります。
- 周囲に壁などの障害物がある場合は、下図に従ってください。

吹出側に障害物がない場合




(上面図)　(上面図)　(上面図)

吹出側に障害物がある場合

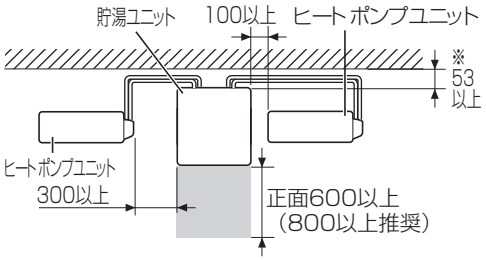



(側面図)　(上面図)

## ■ 貯湯ユニットとヒートポンプユニット間の据え付け所要スペース〔単位：mm〕

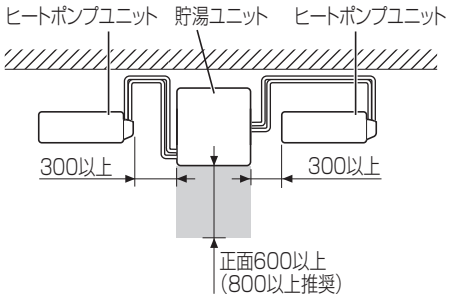
- 配管にはヒートポンプユニットから出る風が、ふろ配管などに当たらないように配置してください。
  (冬期、冷風が当たって凍結する原因になります)
- 貯湯ユニットの上面は 300mm 以上の点検スペースが必要です。

●後方配管の例

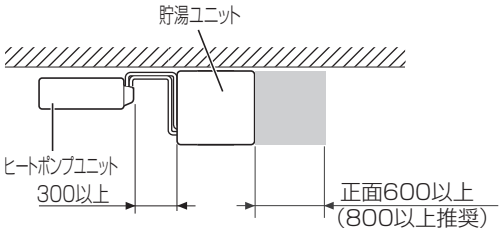



※後方の壁面から53 mm 以上のヒートポンプユニット配管スペースが必要です。
後方に排水配管する場合は必要な排水スペースを確保してください。

●左・右側方配管の例




●貯湯ユニット横向き設置の例



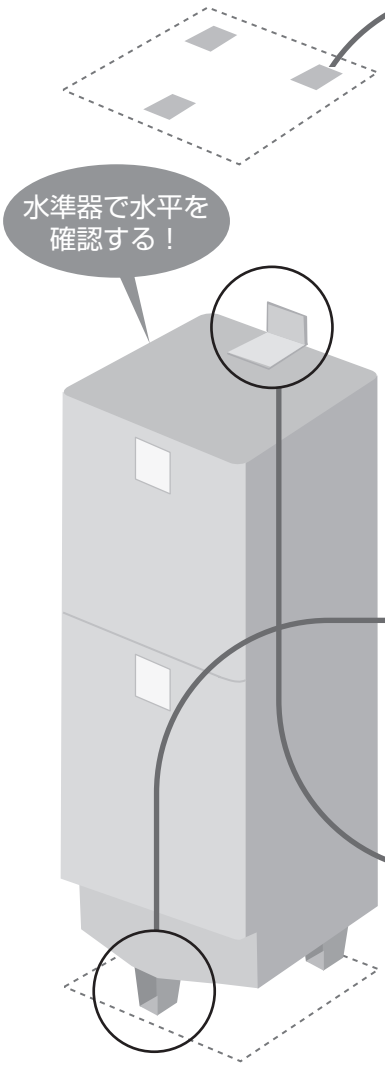

## ■ リモコンの取り付けは

- リモコンの工事説明書に従ってください。
  (浴室リモコンの取り付けは P.35 を参照してください)

# 据付 2 据え付ける

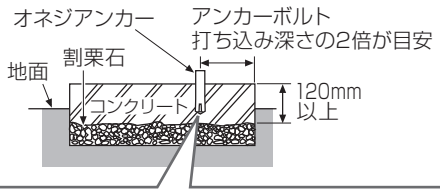
## 貯湯ユニットを据え付ける

**準備**：①タンクが満水になると重くなるため、床面の強度が十分か確認する。またはコンクリート床の基礎工事を行う。
・コンクリートの必要圧縮強度：1.8kN/cm$^2$ (180kgf/cm$^2$) 以上
②屋内に据え付ける場合は、必ず屋内用を設置し、防水処理をする。(例:100mm 以上の防水堤を設ける)
③床面の水平を水準器で確認する。
・タンクは水平な床面に設置してください。
●貯湯ユニットは、各自治体の条例を含む法令等に基づき確実に据え付けてください。この工事説明書の据え付け方法は、建築設備耐震設計・施工指針（日本建築センター）に基づき説明しています。




### 1 アンカーを打ち込む

■アンカー工事例

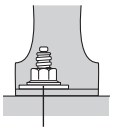



専用別売部材（P.7）をお使いください。
市販部材を使用の場合、品番、施工方法など詳細はアンカーメーカーにお問い合わせください。

### 2 貯湯ユニットの木枠を外し、設置する

●設置の直前まで木枠は外さない。(空水時は転倒のおそれ)

### 3 脚部をアンカーボルトで固定する

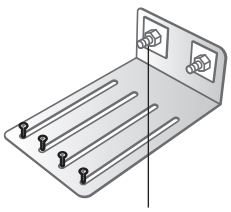


●アンカーボルトの短期許容引抜荷重
6.7kN 以上 ( 埋め込み深さ 60mm 以上 )

M12 オネジアンカーボルト（3 か所）
アンカーボルトセット（品番：AD-HEAB24R）

### ■上部を振れ止め金具で固定する場合

①集合住宅などの建築物へ設置施工するとき
建築物の耐震仕様に沿った施工方法を選択いただくようお願いします。
②同梱部材を使用するとき



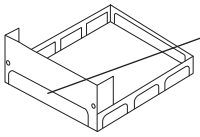
●アンカーボルトの短期許容引抜荷重
3.8kN 以上 ( 埋め込み深さ 45mm 以上 )
(引抜荷重が 3.5kN 以上に耐える壁や桟を設ける)
● 2 階以上に据え付ける場合は、固定してください。

M10 オネジアンカーボルト 2 本（RC 壁の場合）

壁中にラス網がある場合は、電気的に絶縁された状態になるようにしてください。
( アンカーボルトと、ラス網の接触部が過熱するおそれ )

### ■冬場に風の強い場所では

●凍結予防のため、脚部化粧カバー (別売品) を取り付ける。(図は 4 方向の場合)



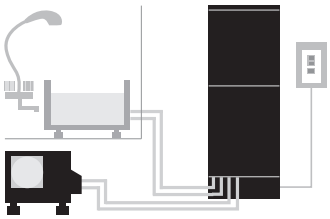
配管の引き出し（P.12）に合わせて外せます。

### ■積雪地域では

●貯湯ユニットに小屋がけをする。

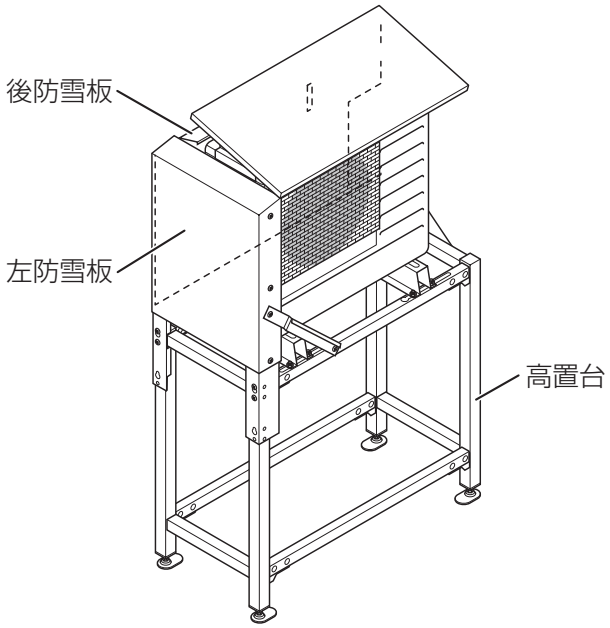
### ■木質床への据え付けや、壁が RC ではない場合

●建築物の耐震仕様に沿った施工方法を選択いただくようお願いします。



# ヒートポンプユニットを据え付ける

屋外、床置きにて据え付けてください。

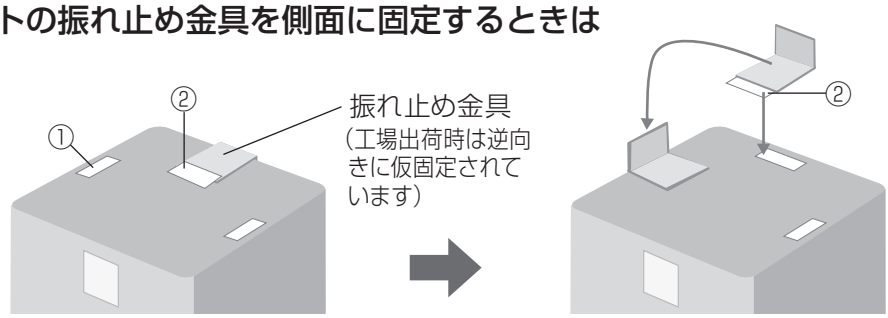



●ヒートポンプユニットを高置台（品番：AD-HEC02KHH）に取り付けてください。
●吸込口、吹出口が積雪でふさがれたり、天板に積雪すると故障の原因になります。
防雪屋根（品番：AD-HESG-RF1）、左防雪板（品番：AD-HESG-KL1）、後防雪板（品番：AD-HESG-KB1）を取り付けてください。
●高置台はアンカーボルト固定などにより、転倒防止の措置をしてください。
アンカーボルトの引き抜き強度：950N 以上



お願い

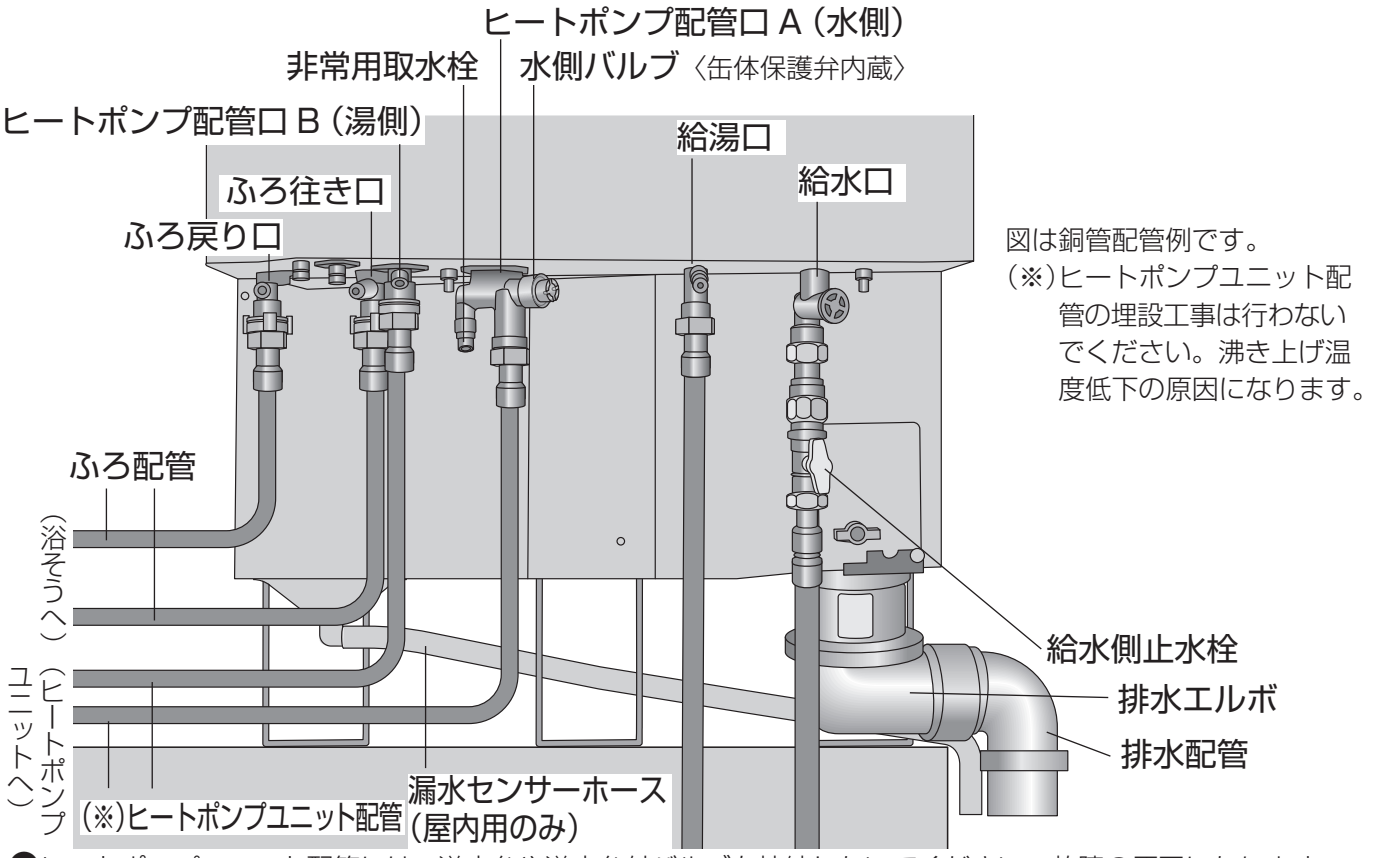
## ■ 貯湯ユニットの振れ止め金具を側面に固定するときは




①のテープをはがす
（テープは廃棄してください）

②のテープでネジ穴をふさぐ
・特に屋外用は雨水が入らないように確実に貼り付けてください。

# 配管工事をする前に

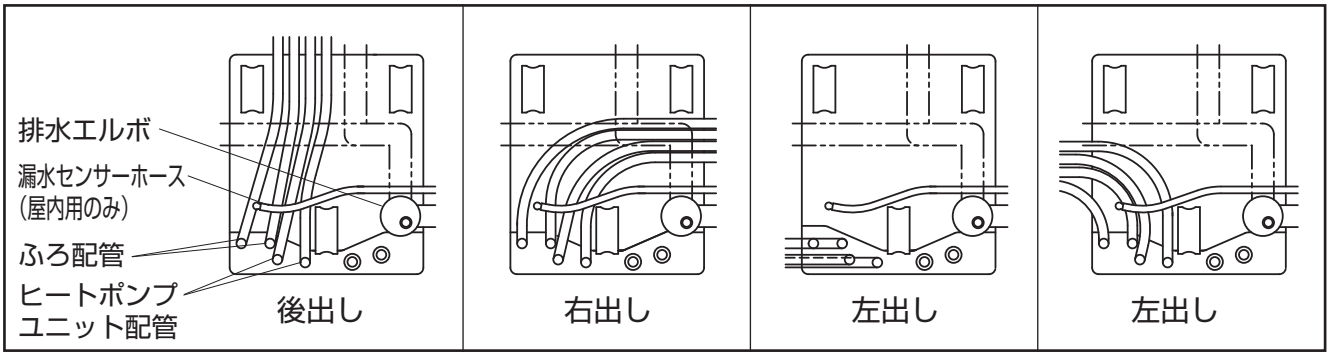



図は銅管配管例です。
（※）ヒートポンプユニット配管の埋設工事は行わないでください。沸き上げ温度低下の原因になります。

●ヒートポンプユニット配管には、逆止弁や逆止弁付バルブを接続しないでください。故障の原因になります。

## ■ 配管の引き出し

配管の引き出しは下図を参考にして配管してください。（上面から見た図）




## ■ 配管材料による制約条件

配管によって、配管長や曲がり数が制限されたり、断熱材の必要厚さが変わります。
必ず下表の制約条件に従ってください。（故障の原因になります）

●給水・給湯配管

| 材　料 | | 断熱材の厚さ |
|---|---|---|
| 架橋PE管 | 16A | 10 mm以上 |
| 銅管 | 20A | |

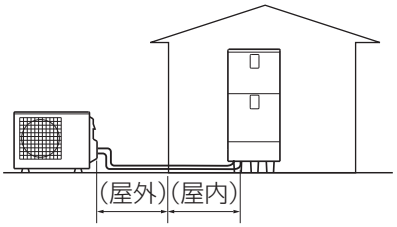
●ヒートポンプユニット配管

| 材　料 | | 配管長 | 断熱材の厚さ |
|---|---|---|---|
| 銅管 | φ12.7 | 貯湯ユニット設置場所<br>・屋外のとき　～5 m<br>・屋内のとき ～10 m<br>（屋外部分は3 mまで） | 20 mm以上 |
| 耐熱性架橋PE管 | 10A | | |
| アルミ三層管 | 10A | | |

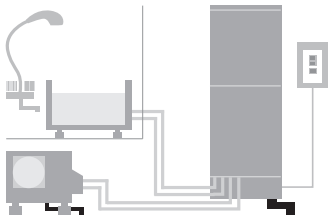
・配管の曲がりは、片道5か所以内のこと
・貯湯ユニット屋内設置で、配管長5 m以下のとき、屋内部分の断熱材の厚さは10 mm以上

●ふろ配管

| 材　料 | | 配管長 | 曲がり（片道） | 断熱材の厚さ |
|---|---|---|---|---|
| 銅管 | φ12.7 | ～5 m | 3か所まで | 10 mm以上 |
| | φ15.88 | 5～15 m | 10か所まで | |
| 架橋PE管 | 13A | ～15 m | 10か所まで | |

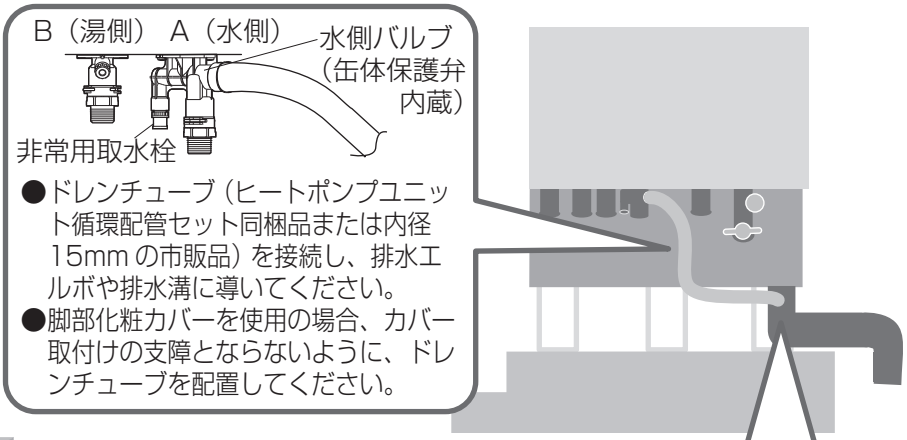


# 排水配管する

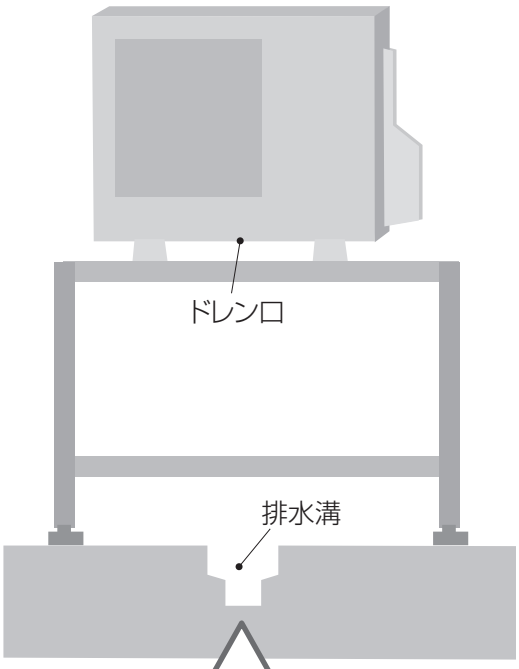


## 排水処理をする

排水は、排水溝などに導くか、近くに排水溝を設けてください。（排水が確認できる場所に排水してください）

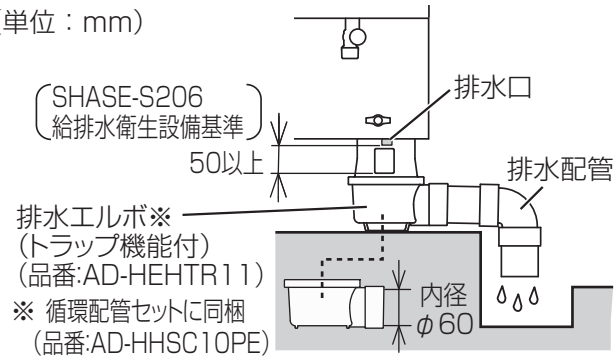



●ドレンチューブ（ヒートポンプユニット循環配管セット同梱品または内径15mmの市販品）を接続し、排水エルボや排水溝に導いてください。
●脚部化粧カバーを使用の場合、カバー取付けの支障とならないように、ドレンチューブを配置してください。




●下部に排水溝またはホッパーを設けてください。
●ドレン水が凍結し排水経路が閉塞しないようにしてください。（沸き上げ運転に支障をきたす場合があります）

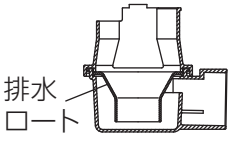
（単位：mm）




●排水経路には、必ず 50 mm 以上の吐水口空間を設けて、間接排水してください。
経路は凍結で閉塞しないようにしてください。
● 25 L/ 分以上の排水ができる配管であること。
●排水配管は、90 ℃以上の耐熱を有する材料を使用してください。

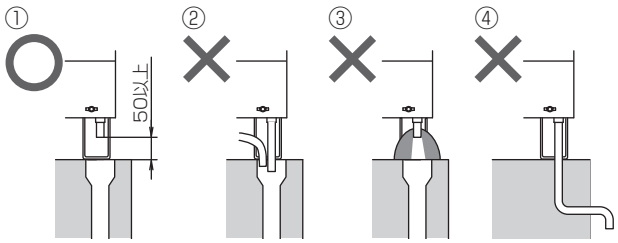
### ■ 下水ガスが逆流するおそれがある場合

排水ロートを取り付けたまま設置してください。
下水ガスによる排水配管および製品の腐食を防止します。



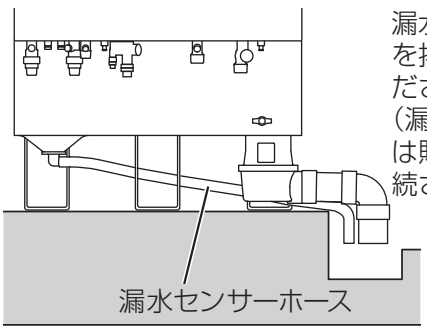

●二重封水（トラップ）になる場合は、必ず排水ロートを取り外してください。水が流れなくなります。

### ■ 排水口直下に排水する場合




①排水口は必ず 50mm 以上のスキマを開け、開放してください。
②排水配管を排水マスの中に入れないでください。
③排水口をパテなどで埋めないでください。
④下方延長は間接排水した後、延長してください。
（負圧によりタンクが破損するおそれ）

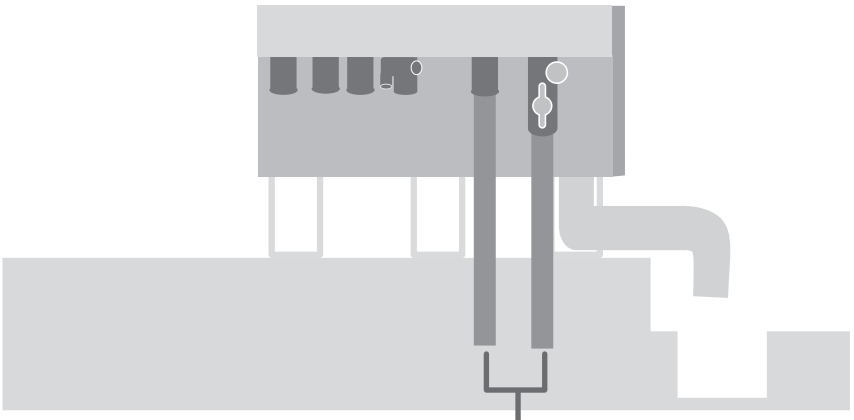
## 漏水処理をする（屋内用のみ）



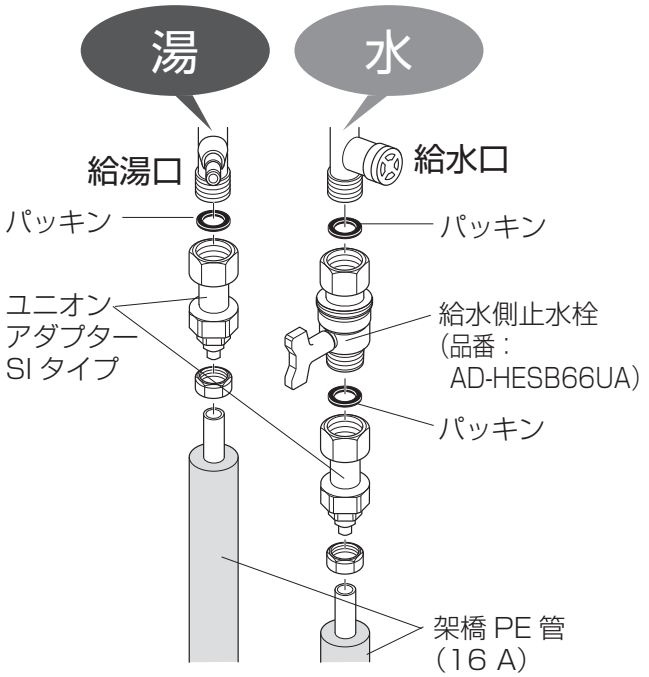

漏水センサーホースを排水溝に導いてください。
（漏水センサーホースは貯湯ユニットに接続されています）

配　管 3

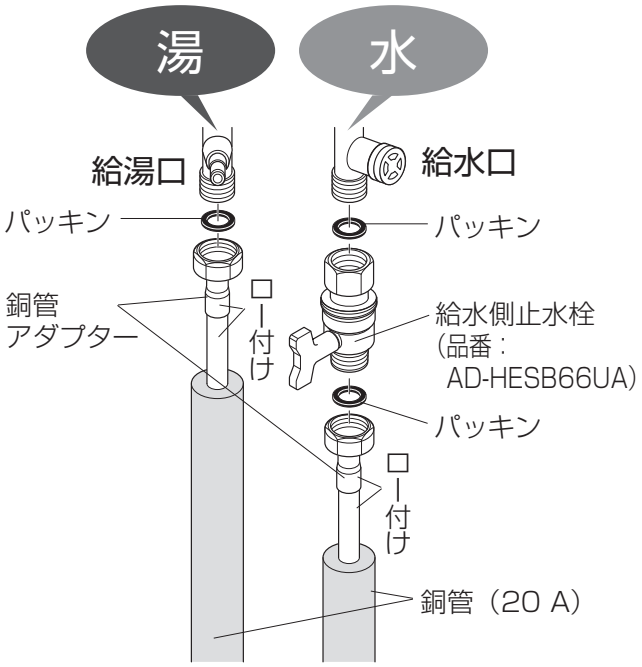
# 給水・給湯配管する



## ■ 樹脂管の場合




## ■ 銅管の場合




■推奨部材

| | 給水側 | 給湯側 |
|---|---|---|
| **架橋PE管（16 A）** | 三菱樹脂（株）<br>HC-16HON10B（25 m）<br>HC-16HON10B-50M（50 m） | 三菱樹脂（株）<br>HC-16HON10P（25 m）<br>HC-16HON10P-50M（50 m） |
| **ユニオンアダプターSIタイプ** | 三菱樹脂（株）<br>XL-20-16F | |

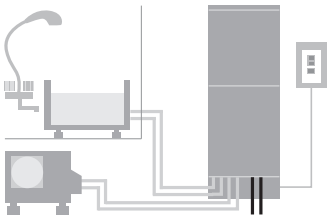
●給水側止水栓は専用別売部材をご使用ください。
その他の配管および配管部材は現地調達してください。

**お願い**

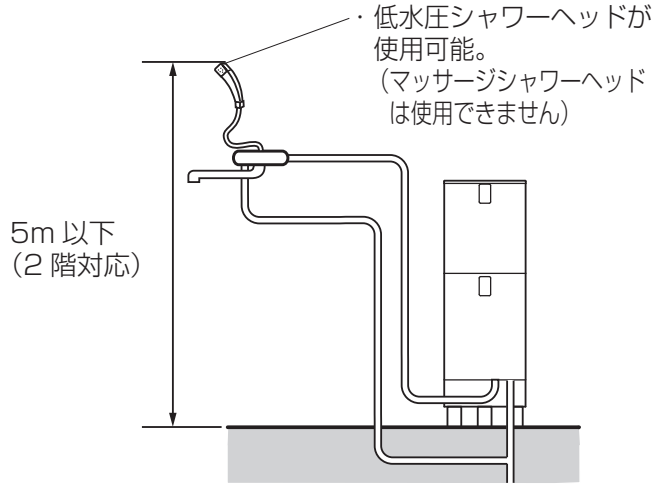
●架橋 PE 管は、断熱材などで必ず保護し、接続部などを絶対に露出しないでください。（太陽光線などの紫外線により、劣化し、水漏れの原因）
●既設の配管で老巧化している場合は使用しないでください。
●配管は接続するまで先端を保護し、異物が入らないようにしてください。（故障の原因）
●給水に砂などの異物が混入していないことを確認してください。（故障の原因）

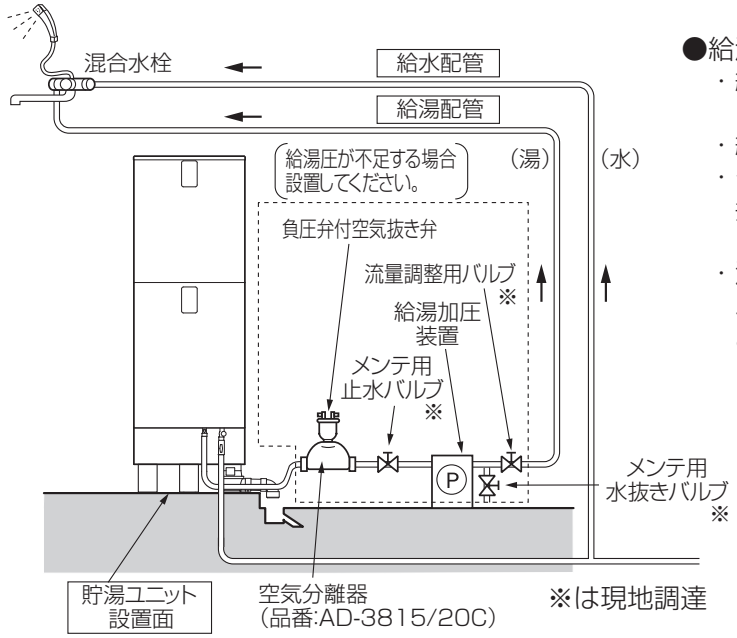
〈給水配管〉
●給水側止水栓（品番：AD-HESB66UA）は必ず設けてください。長期間使用しないときの水抜き、タンク内の掃除のとき必要です。
●配管接続部のシール材は耐食性のある材料を使用してください。

〈給湯配管〉
●配管接続部のシール材は耐熱・耐食性のある材料を使用してください。



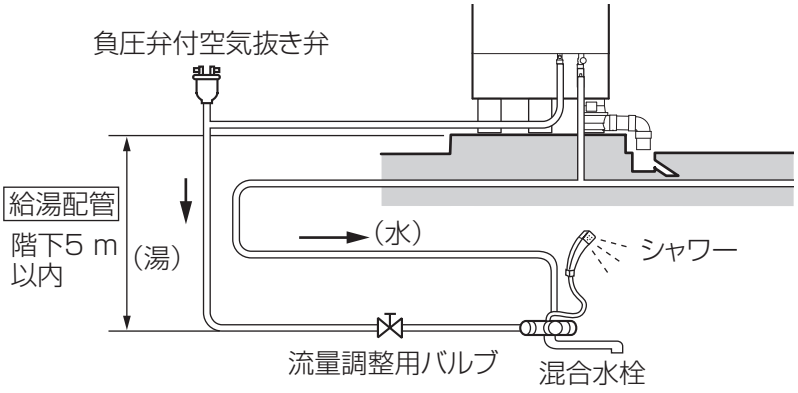
## 2 階給湯の場合




●給湯圧が不足する場合は左図に従ってください。
- 給湯加圧装置
（テラル（株）品番：PH-203GT05、PH-203GT1）
- 給湯加圧ポンプの最大出力は 100 W 以下
- タンク破損防止のため、必ず負圧弁付空気抜き弁を取り付ける。
（品番：AD-3820D）
- 流量調整用バルブの開度は、給湯加圧装置がエアーがみせず、混合水栓の流量が多すぎないよう調整する。

## 階下給湯の場合

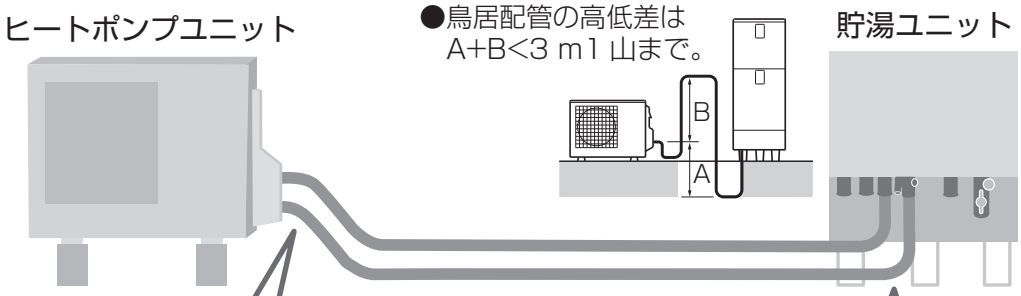



●貯湯ユニット設置面より、下方 5m 以内としてください。
●タンク破損防止のため、必ず
- 負圧弁付空気抜き弁
（品番：AD-3820D）
- 流量調整用バルブ（現地調達）
を取り付けてください。

# 配　管 4 ヒートポンプユニット配管する

## 樹脂管を使うとき

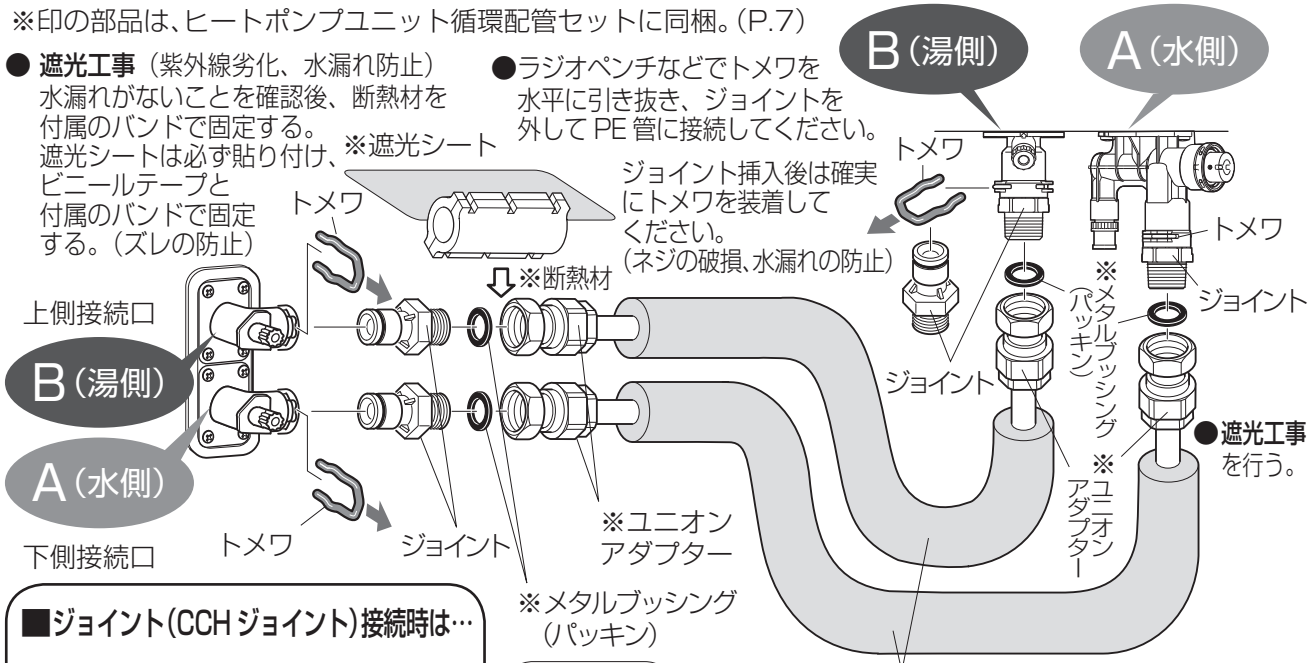
●カバーの取り外し
（ネジを確実に緩め、カバーを下へ押す）




※印の部品は、ヒートポンプユニット循環配管セットに同梱。（P.7）

● **遮光工事**（紫外線劣化、水漏れ防止）
水漏れがないことを確認後、断熱材を付属のバンドで固定する。
遮光シートは必ず貼り付け、ビニールテープと付属のバンドで固定する。（ズレの防止）

●ラジオペンチなどでトメワを水平に引き抜き、ジョイントを外して PE 管に接続してください。

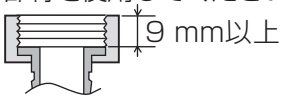



※耐候性断熱材付架橋 PE 管（10A）

### ■ジョイント（CCH ジョイント）接続時は…

●**ジョイントは樹脂製です。傷を付けないようにしてください。ユニオンアダプターの締付トルクは 20N・m 以下で行ってください。**
手締めをしてアタリが出てからスパナの共がけで 1/6 回転（60 度）程度の増し締めが目安です。

●ユニオンアダプターを現地調達される場合は、ナット部の深さ 9 mm 以上の部材を使用してください。




●ジョイントは、O リングの傷付、ごみの付着がないように元どおり接続し、確実にトメワを装着してください。（水漏れの防止）

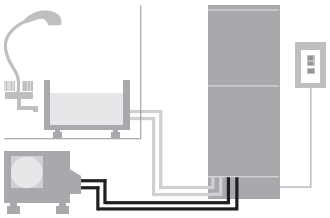
●ネジ部にテープなどを巻いてシールする場合は、必ずジョイントを外して金属製の専用別売部材「ヒートポンプ接続継ぎ手セット」（品番：AD-HHTP-4CC）に交換して工事してください。

### お願い

●ヒートポンプ配管は A—A、B—B 正しく接続してください。（運転が停止します）
●次の状態で配管してください。

| 貯湯ユニット設置場所 | 屋外 | 屋内 | |
|---|---|---|---|
| 配管長（片道） | 5m以下 | 5m以下 | 10m以下（屋外部分3mまで） |
| 曲がり（片道） | 5か所以内 | 5か所以内 | 5か所以内 |
| 断熱材の厚さ | 20mm以上 | 20mm以上（屋外）<br>10mm以上（屋内） | 20mm以上 |

●ツインチューブ配管では、正常な運転ができません。（A—A、B—B の間で熱交換する）それぞれ独立したシングル配管をご使用ください。
●樹脂管は断熱材取付後、断熱材や接続部などが露出しないように、必ず遮光テープを巻いてください。（紫外線劣化による水漏れ防止）
●ふろ用樹脂管やゴム管など、指定品以外を使用しないでください。（高温で材料が劣化し、水漏れや、溶け出した異物による機器故障の原因になります）
●パッキンは、耐熱性のある材料を使用してください。（耐熱温度：90 ℃以上）
●フレキ管は、配管接続部の位置ずれを吸収する場合のみ使用してください。（50 cm 以内、長くなると循環水量が低下）
●配管は接続するまで先端を保護し、異物が入らないようにしてください。（異物が詰まって故障の原因）
●配管したままヒートポンプユニットの据付位置を移動しないでください。（水漏れの原因）
●アルミ三層管も使用できます。

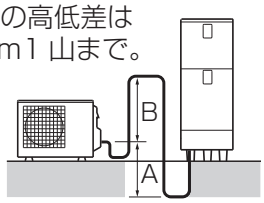


## 銅管を使うとき

●カバーの取り外し
（ネジを確実に緩め、カバーを下へ押す）

ヒートポンプユニット

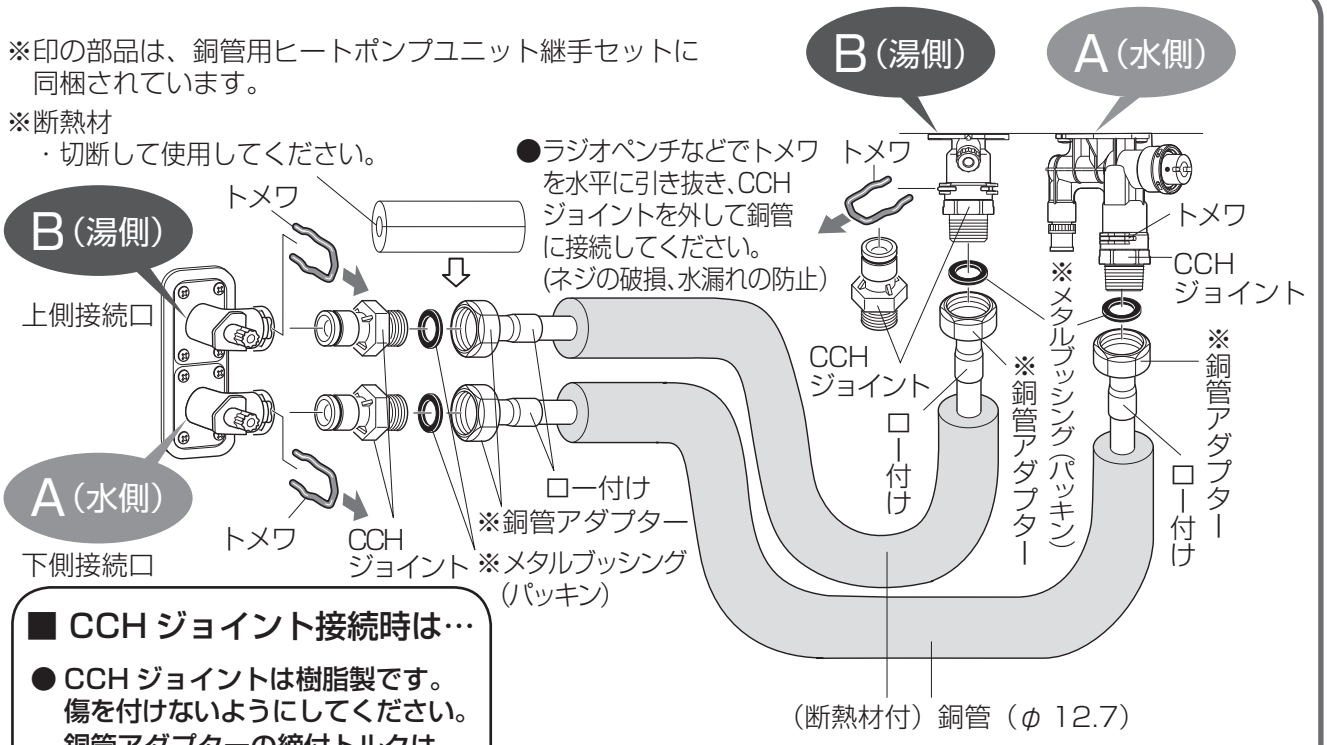
●鳥居配管の高低差は
A+B<3m1 山まで。




貯湯ユニット

※印の部品は、銅管用ヒートポンプユニット継手セットに同梱されています。

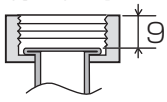
※断熱材
・切断して使用してください。




### ■ CCH ジョイント接続時は…

● **CCH ジョイントは樹脂製です。傷を付けないようにしてください。銅管アダプターの締付トルクは 20N・m 以下で行ってください。**
手締めをしてアタリが出てからスパナの共がけで 1/6 回転（60 度）程度の増し締めが目安です。

●銅管アダプターを現地調達される場合は、ナット部の深さ 9 mm 以上の部材を使用してください。




● CCHジョイントは、O リングの傷付、ゴミの付着がないように元どおり接続し、確実にトメワを装着してください。（水漏れの防止）

●ネジ部にテープなどを巻いてシールする場合は、必ず CCHジョイントを外して金属製の専用別売部材「ヒートポンプ接続継ぎ手セット」（品番：AD-HHTP-4CC）に交換して工事してください。

### お願い

●ヒートポンプ配管は A—A、B—B 正しく接続してください。（運転が停止します）

●次の状態で配管してください。

| 貯湯ユニット設置場所 | 屋外 | 屋内 | |
|---|---|---|---|
| 配管長（片道） | 5m以下 | 5m以下 | 10m以下（屋外部分3mまで） |
| 曲がり（片道） | 5か所以内 | 5か所以内 | 5か所以内 |
| 断熱材の厚さ | 20mm以上 | 20mm以上（屋外）<br>10mm以上（屋内） | 20mm以上 |

●ツインチューブ配管では、正常な運転ができません。（A—A、B—B の間で熱交換する）
それぞれ独立したシングル配管をご使用ください。

●パッキンは、耐熱性のある材料を使用してください。（耐熱温度：90 ℃以上）

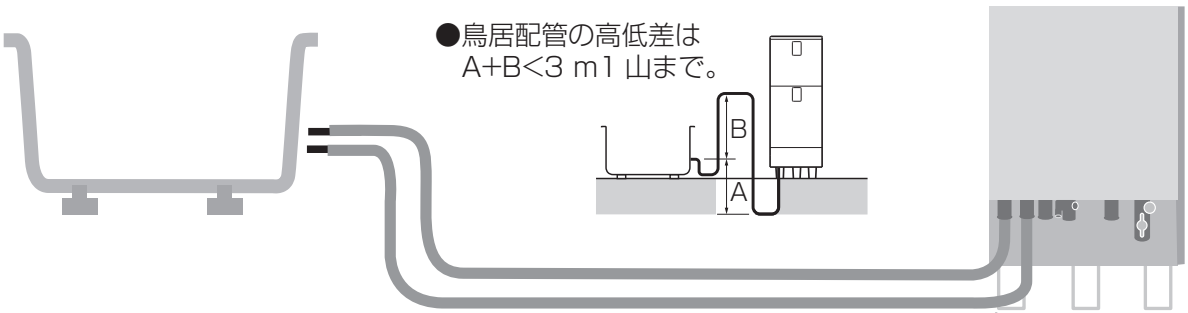
●配管は接続するまで先端を保護し、異物が入らないようにしてください。（異物がつまって故障の原因）

●配管したままヒートポンプユニットの据付位置を移動しないでください。（水漏れの原因）

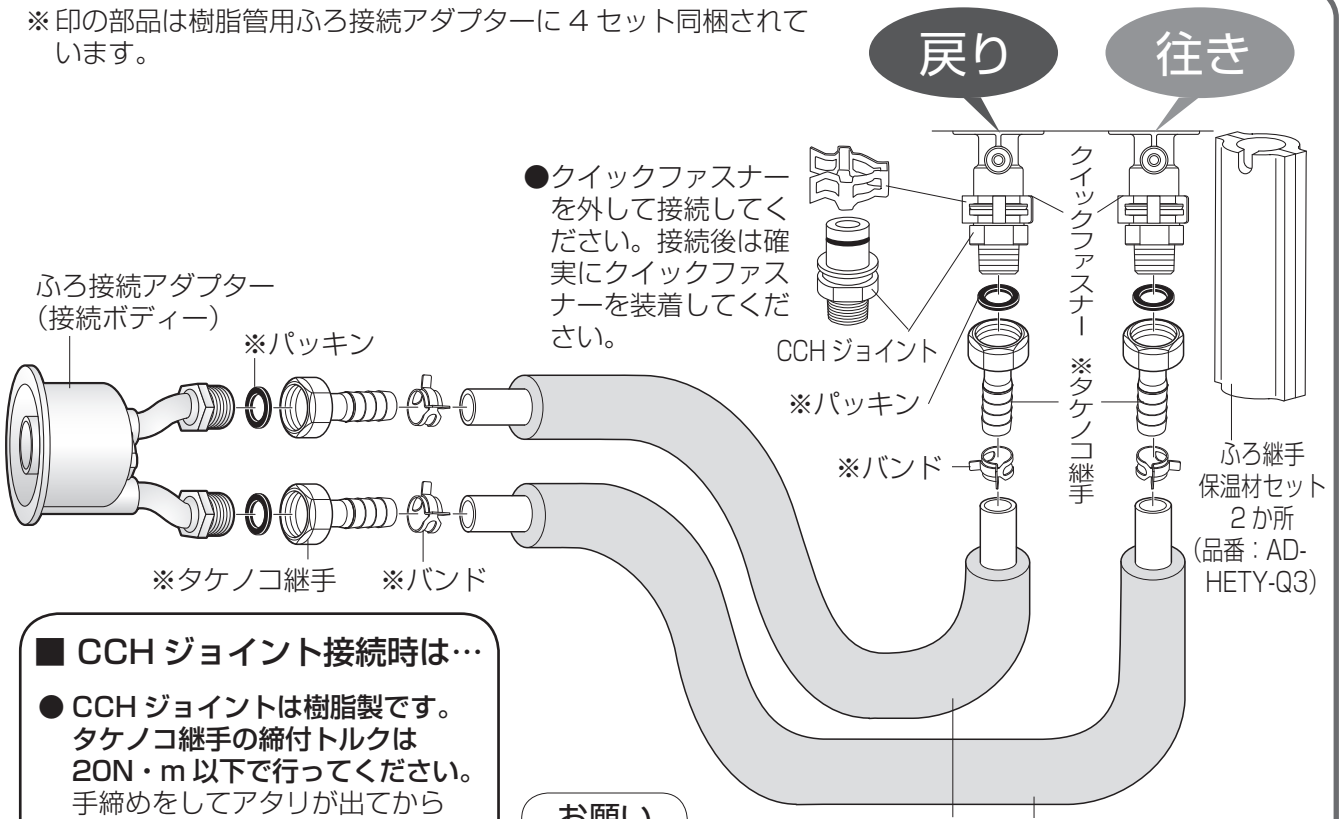
# 配管 5 ふろ配管する

## 樹脂管を使うとき

酸性水地域でご使用の場合は、耐熱樹脂管の使用をおすすめします。

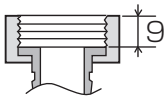



※印の部品は樹脂管用ふろ接続アダプターに 4 セット同梱されています。




### ■ CCH ジョイント接続時は…

- **CCH ジョイントは樹脂製です。タケノコ継手の締付トルクは 20N・m 以下で行ってください。**
  手締めをしてアタリが出てからスパナの共がけで 1/6 回転（60 度）程度の増し締めが目安です。
- ●タケノコ継手を現地調達される場合は、ナット部の深さ 9 mm 以上の部材を使用してください。



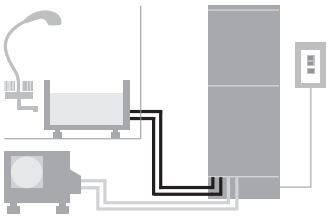

- ●ネジ部にテープなどを巻いてシールする場合は、必ず CCH ジョイントを外して金属製の専用別売部材「ふろ接続継ぎ手セット」（品番：AD-HFTQ-4CC）に交換して工事してください。

### お願い

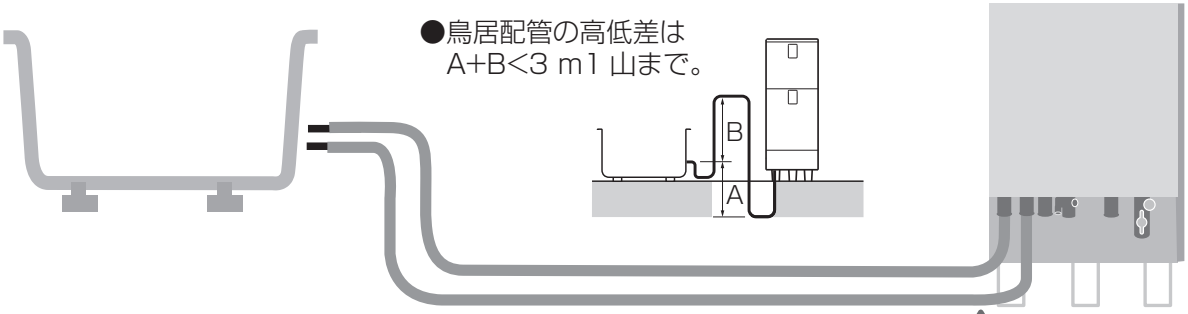
●次の状態で配管してください。

| | |
|---|---|
| 配管長（片道） | 15m以下 |
| 曲がり（片道） | 10か所以内 |
| 断熱材の厚さ | 10mm以上 |

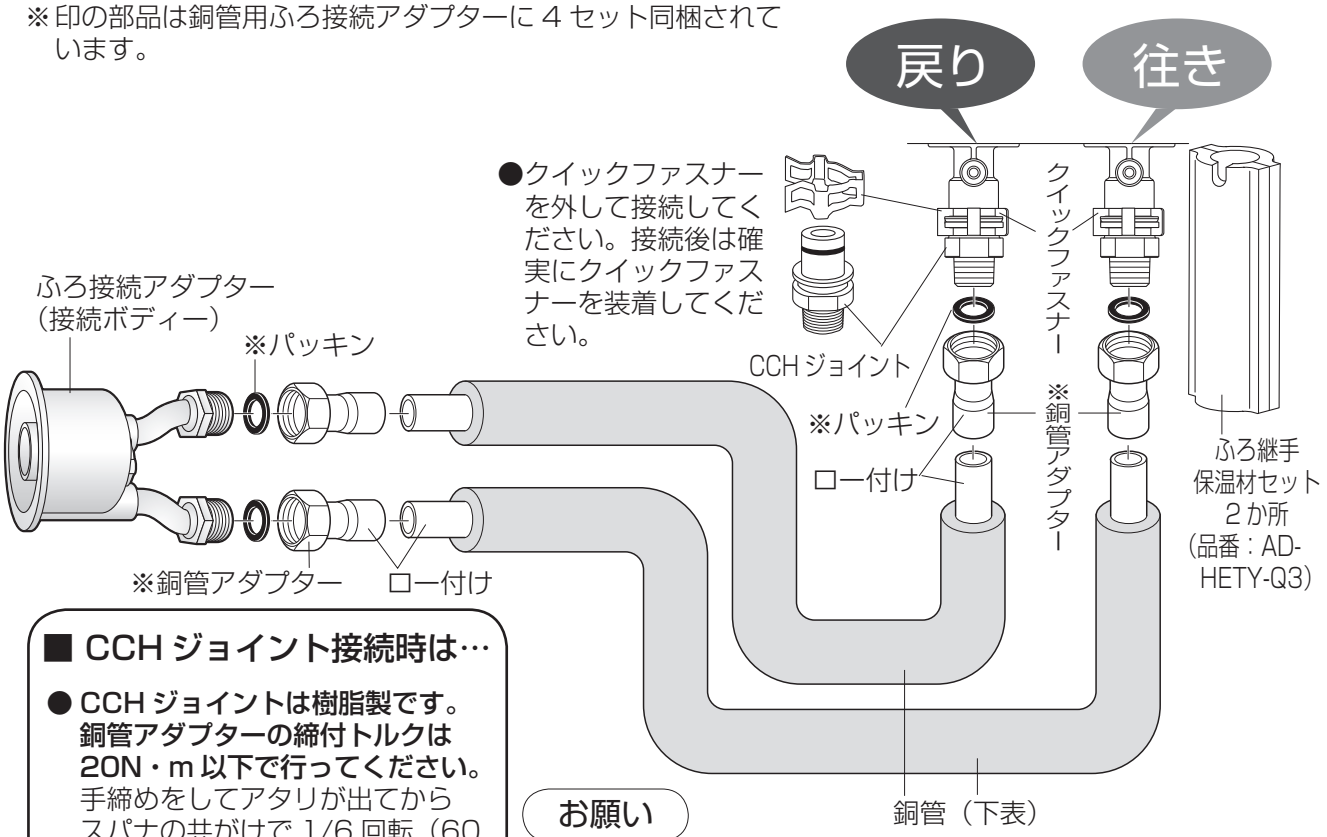
- ●耐熱・耐食性を有する材料を使用してください。
- ●架橋 PE 管は、断熱材などで必ず保護し、接続部などを絶対に露出しないでください。
  （太陽光線などの紫外線により、劣化し、水漏れの原因）
- ●フレキ管は、配管接続部の位置ずれを吸収する場合のみ使用してください。
  （50 cm 以内、長くなると循環水量が低下）
- ●ふろ配管の途中にフィルターを取り付けないでください。
  （短期間でフィルターがつまり、お湯が流れなくなる）
- ●配管は接続するまで先端を保護し、異物が入らないようにしてください。（異物がつまって故障の原因）



## 銅管を使うとき

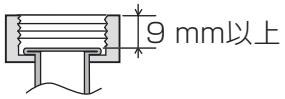



※印の部品は銅管用ふろ接続アダプターに 4 セット同梱されています。




### ■ CCH ジョイント接続時は…

- **CCH ジョイントは樹脂製です。銅管アダプターの締付トルクは 20N・m 以下で行ってください。**
  手締めをしてアタリが出てからスパナの共がけで 1/6 回転（60 度）程度の増し締めが目安です。
- ●銅管アダプターを現地調達される場合は、ナット部の深さ 9 mm 以上の部材を使用してください。




- ●ネジ部にテープなどを巻いてシールする場合は、必ず CCH ジョイントを外して金属製の専用別売部材「ふろ接続継ぎ手セット」（品番：AD-HFTQ-4CC）に交換して工事してください。

### お願い

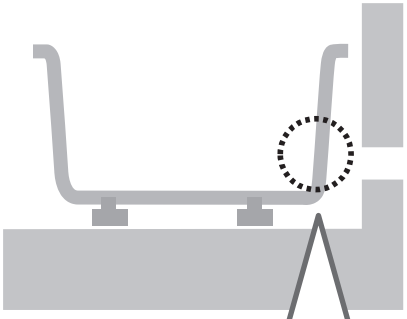
●次の状態で配管してください。

| 配管の径 | φ12.7 | φ15.88 |
|---|---|---|
| 配管長（片道） | 5m以下 | 15m以下 |
| 曲がり（片道） | 3か所以内 | 10か所以内 |
| 断熱材の厚さ | 10mm以上 | |

- ●耐熱・耐食性を有する材料を使用してください。
- ●フレキ管は、配管接続部の位置ずれを吸収する場合のみ使用してください。
  (50 cm 以内、長くなると循環水量が低下)
- ●ふろ配管の途中にフィルターを取り付けないでください。
  (短期間でフィルターがつまり、お湯が流れなくなる)
- ●配管は接続するまで先端を保護し、異物が入らないようにしてください。(異物がつまって故障の原因)

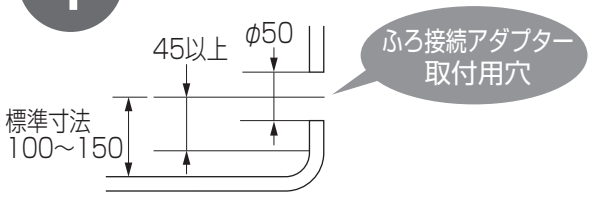
# 配管 5 ふろ配管する（つづき）

## 浴そうに穴をあける

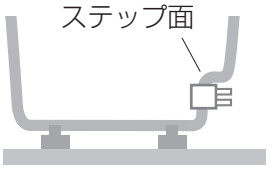


（単位：mm）

### 1 穴をあける（1 か所）



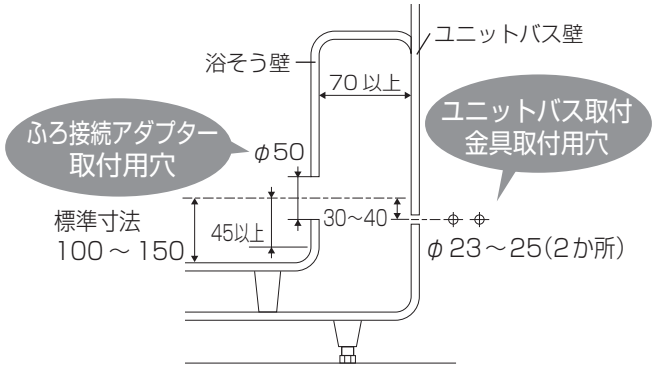

### ■ ステップ付き浴そうの場合




●必ず、ステップ面より下に穴をあけてください。（お湯があふれたり、温度むらが発生）

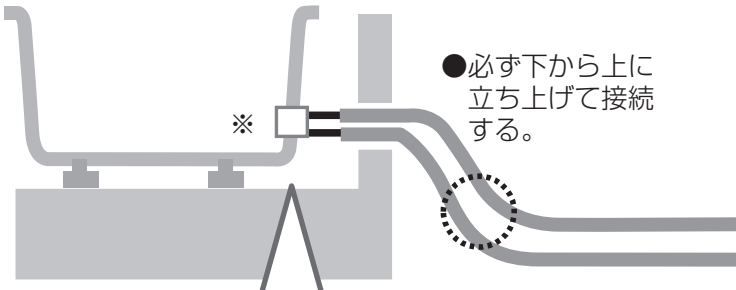
### ■ ユニットバスの場合

①穴をあける（単位：mm）

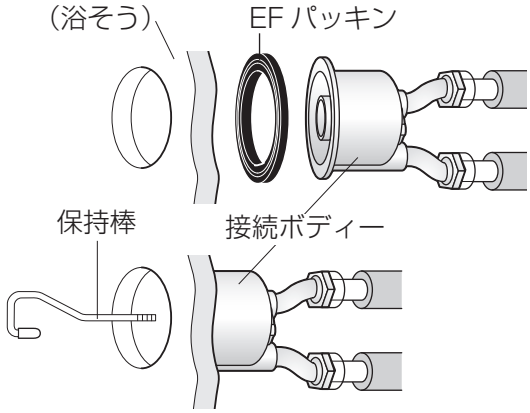



- ふろ接続アダプターは、横出し（L 型）を使用してください。（品番：AD-HQSA-LT3）
- フレキ管は現地調達してください。
- ユニットバスは、水漏れ防止のため「防水パン式」を推奨します。

## 浴そうに

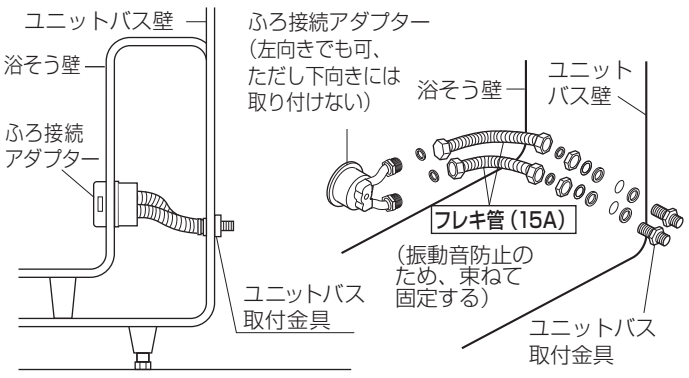



### 1 保持棒で、接続ボディを浴そうに引き寄せる



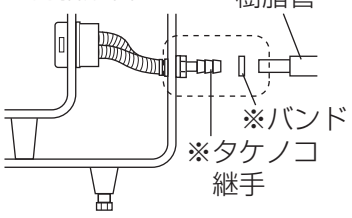

### ■ ユニットバスの場合

①浴そうにふろ接続アダプターを取り付け、ユニットバス壁間の配管をする



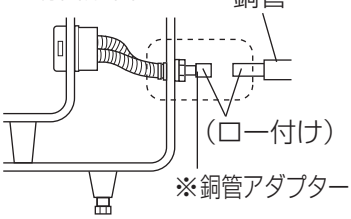

②配管を接続する

●樹脂配管

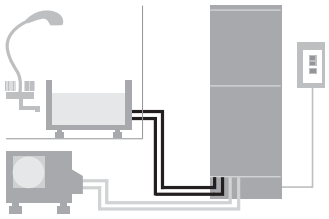



※ふろ接続アダプター（品番：AD-HQSA-LT3）に同梱

●銅管配管

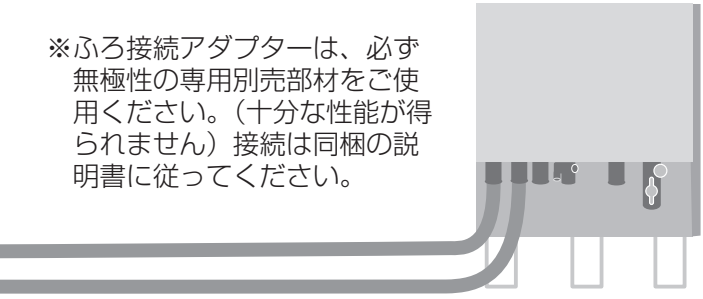



※ふろ接続アダプター（銅管用）に同梱

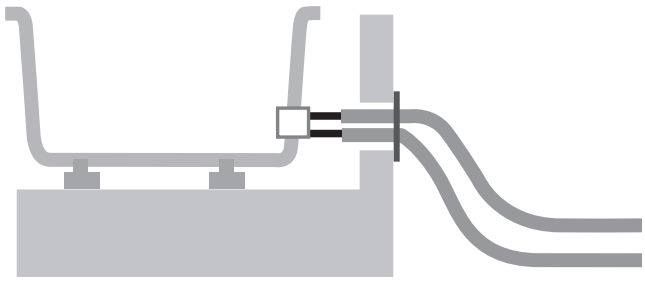


## 配管する

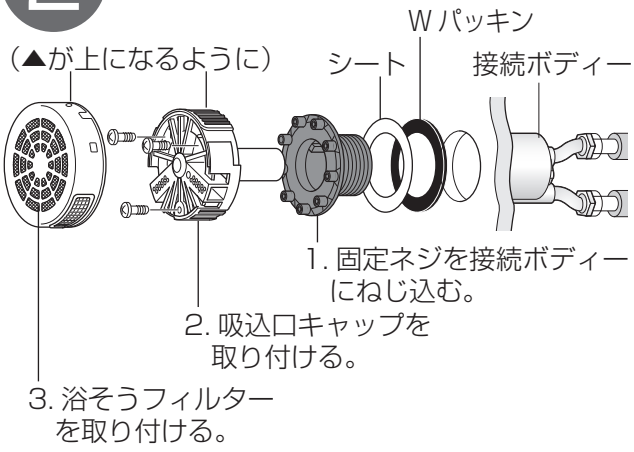
※ふろ接続アダプターは、必ず無極性の専用別売部材をご使用ください。（十分な性能が得られません）接続は同梱の説明書に従ってください。



## 仕上げる

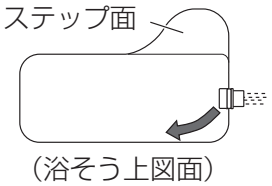


### 2 浴そうの内側から固定する

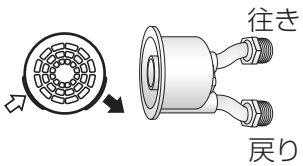



#### ■ステップ付き浴そうの場合

（ステップ面が側面のとき）




●必ず、ステップの反対側にお湯が吹き出すよう、取り付けてください。（温度むらが発生）

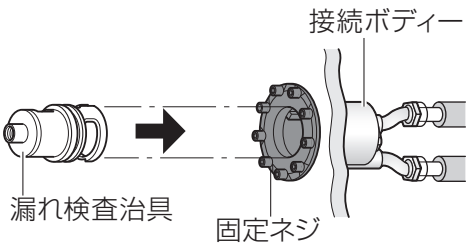


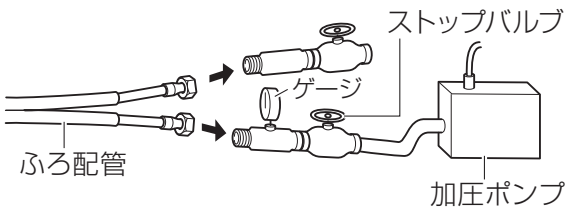

※専用のふろ接続アダプターは、中心に近い接続口に「往き」管を接続すると、右側からお湯が吹き出す。

### 1 水漏れ検査をする

●専用の漏れ検査治具で漏れ検査を行ってください。（品番：AD-G381-Z）
検査を行わないと、エアーがみして水位が狂うことがあります。

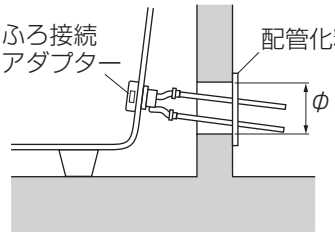
●漏れ検査での加圧作業は、圧力を上げ過ぎないでください。（故障の原因）
・水圧　200 kPa 以下 または
・空圧　100 kPa 以下




### 2 配管化粧板で仕上げる

（単位：mm）




（品番：AD-3700PE-M または AD-3700GT-M）

配　管 6

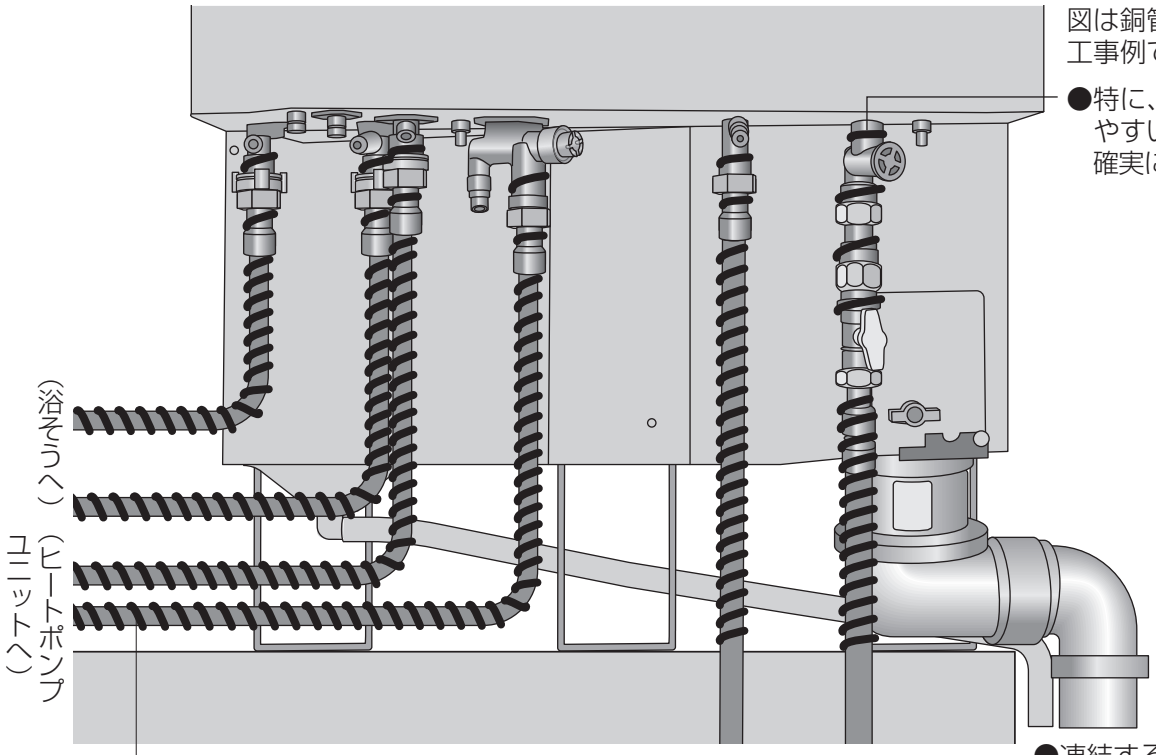
# 保温・凍結予防工事する

## 保温工事をする

準備：全系統の水漏れ確認をしてください。
（作業や輸送によるゆるみのおそれ）
配管接続部は、十分に確認してください。

## 凍結予防工事をする

保温工事をしていても周囲温度が 0 ℃以下になると凍結します。機器や配管が破損する場合がありますので、凍結予防ヒーターを巻いて加温してください。




図は銅管配管の凍結予防工事例です。

●特に、給水管は凍結しやすいので、根元まで確実に巻いてください。

●凍結するおそれがある場合は、排水配管も凍結予防工事が必要です。

〈推奨凍結予防ヒーター〉
東京特殊電線
NF オートヒーター（自己温度制御タイプ）

お願い

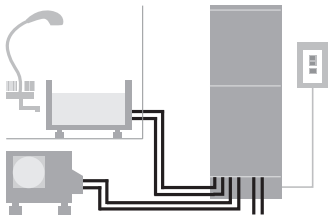
●断熱材の厚さは、12 ページに従ってください。
●ヒートポンプ配管は、A—A、B—B 戻り管を独立して工事してください。
●樹脂管は太陽光などの紫外線により劣化し、水漏れします。
接続部などが露出しないようにしてください。

お願い

●屋外配管は必ず凍結予防ヒーターを巻いてください。
●ヒーターは複数本使用します。
適当な位置にコンセントを設けてください。
●樹脂管の場合は、断熱材の上から凍結予防ヒーターを巻いてください。
（銅管の場合は、直接巻いてください）
●凍結予防ヒーターの上に、同梱の断熱材を巻いてください。
●配管に水がない状態では、絶対に凍結防止ヒーターに通電しないでください。

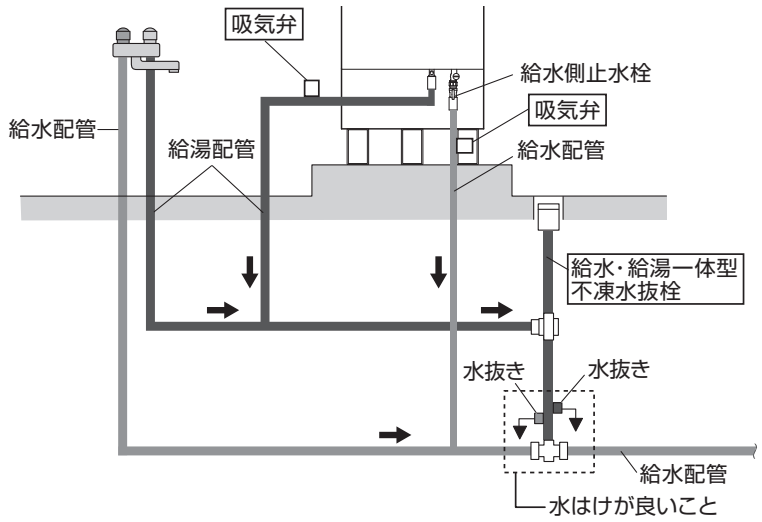
### ■ 冬場に風の強い地域や、局所的に寒波の来る地域、山間部の場合

●別売の脚部化粧カバーを取り付けて、配管に風が当たらないようにしてください。（P.10）
●脚部化粧カバーを取り付けない場合は、別売の給水給湯口保温材セット（品番：AD-HEDS-FB）または厚さ 10mm 以上の断熱材で給水・給湯口を覆ってください。
（水抜き栓などは、断熱材で覆わないで、容易に水抜きができるようにしてください）



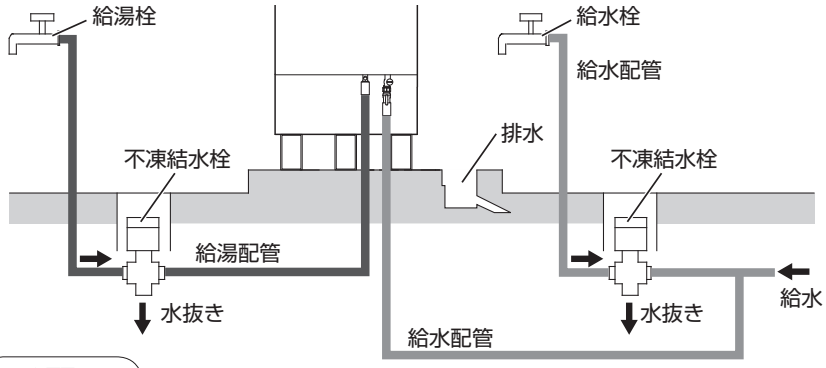
## 不凍水抜き栓による凍結予防工事

### ■ 工事例 1




●夜に不凍水抜き栓を閉め、朝に開けるような場合は、左図のような不凍水抜き栓の工事が可能です。

### ■ 工事例 2




● 2 日以上使わない場合は左図のようにタンクに水圧がかかる配管にして、給水・給湯別々に不凍水抜き栓の工事を行ってください。（タンク圧力がかからない状態が数日続くと H94 などのエラーが発生します）

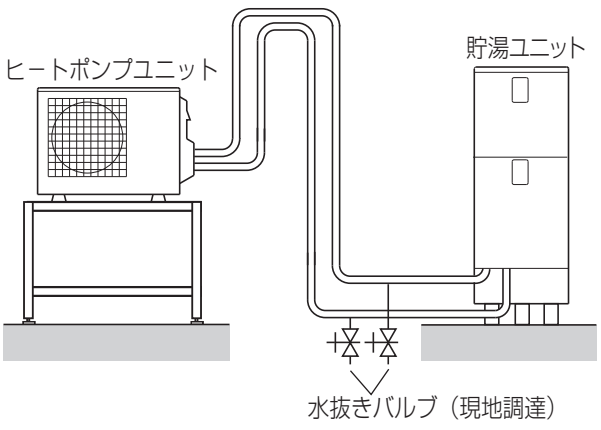
お願い

●配管システムによっては、貯湯ユニット側の給水配管の水が抜けない場合があるため、吸気弁を取り付けてください。（推奨品（株）光合金製作所　自動吸気弁　品番：LKS）
●水抜き部は、水はけ性を良くしてください。

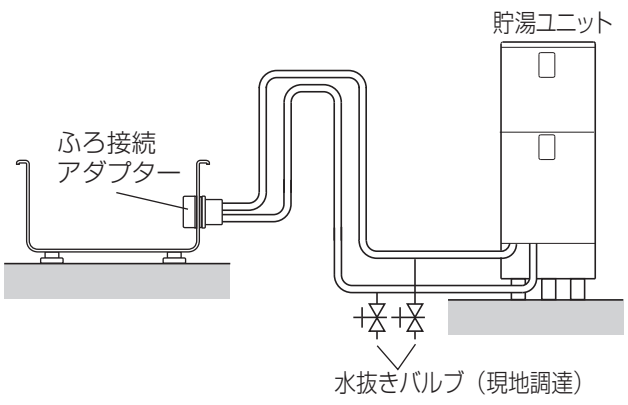
## 鳥居配管がある場合の凍結予防工事

長期間不在時、凍結防止のため水抜きが必要な地域では、配管の最下部に水抜きバルブを取り付けてください。

### ヒートポンプユニット配管への取付例

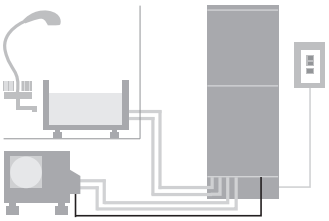



### ふろ配管への取付例



配　線 1

# 連絡配線する



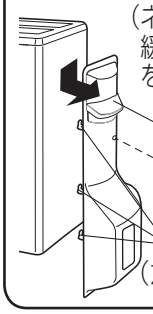
## ヒートポンプユニットと貯湯ユニットを連絡する

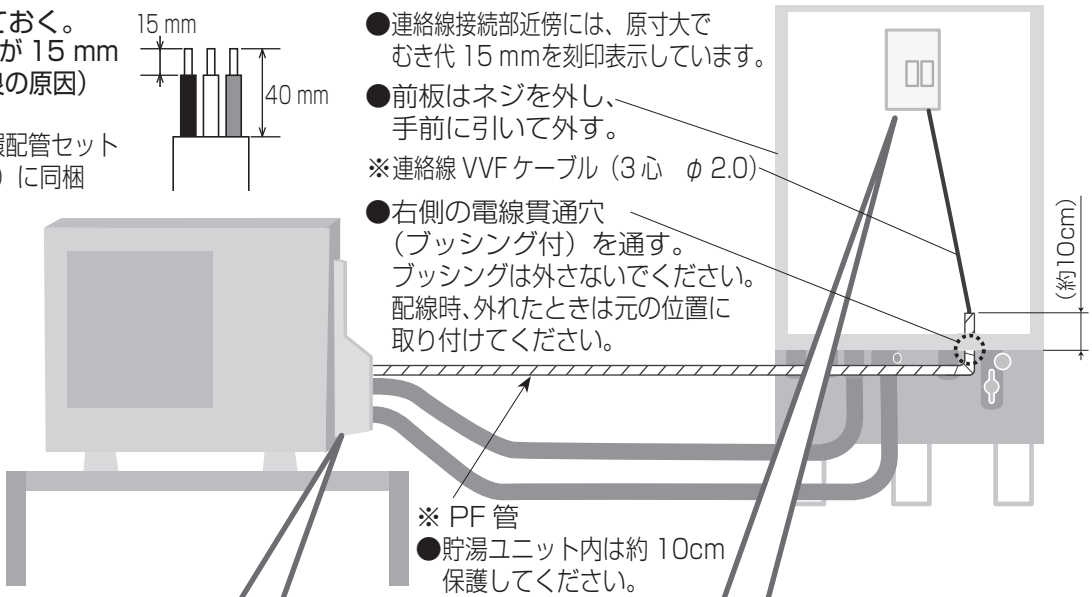
**準備**：連絡線を加工しておく。
（心線のむき代寸法が 15 mm 以下では、接触不良の原因）



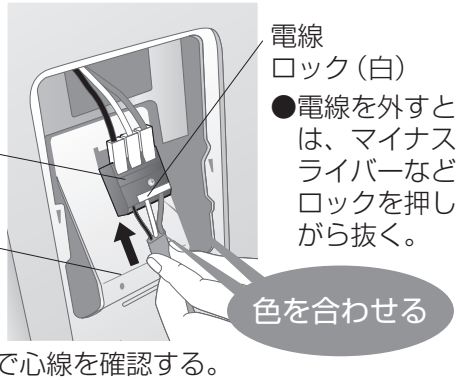

※ヒートポンプユニット循環配管セット（品番：AD-HHSC10PE）に同梱されています。

●カバーの取り外し
（ネジを確実に緩め、カバーを下へ押す）




### 1 奥まで差し込む

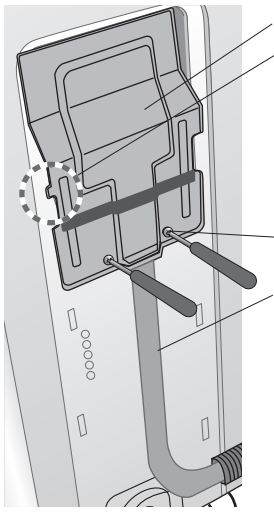



●電線を外すときは、マイナスドライバーなどでロックを押しながら抜く。

●確認窓で心線を確認する。
（挿入不足のときは、接触不良で過熱して発煙、発火のおそれ　H90 エラー表示）

●確実な固定のため、２重被覆がネジ穴上部折り曲げより上にあること。

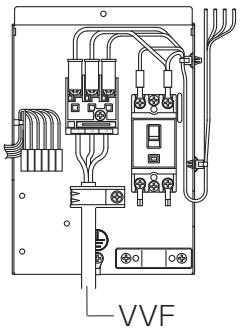
### 2 連絡線を固定する

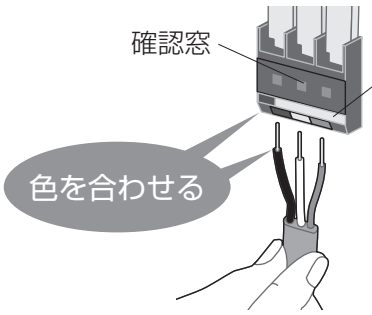



●つめ（左右2か所）を穴に確実に挿入しないとカバーの取り付けができません。

●垂直に配線してください。傾いたり曲がっていると、カバーの取り付けができません。

### 1 奥まで差し込む



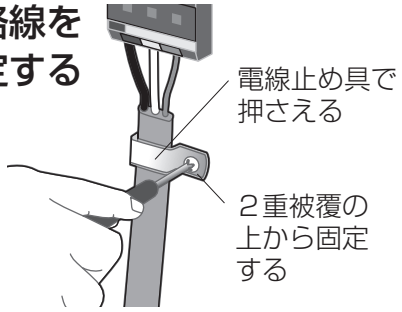




●電線を外すときは、マイナスドライバーなどでロックを押しながら抜く。

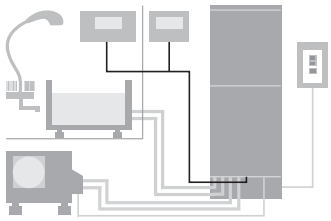
●確認窓で心線を確認する。
（挿入不足のときは、接触不良で過熱して発煙、発火のおそれ　H90 エラー表示）

●連絡線の差し間違いがないか、色合わせを確認する。

### 2 連絡線を固定する

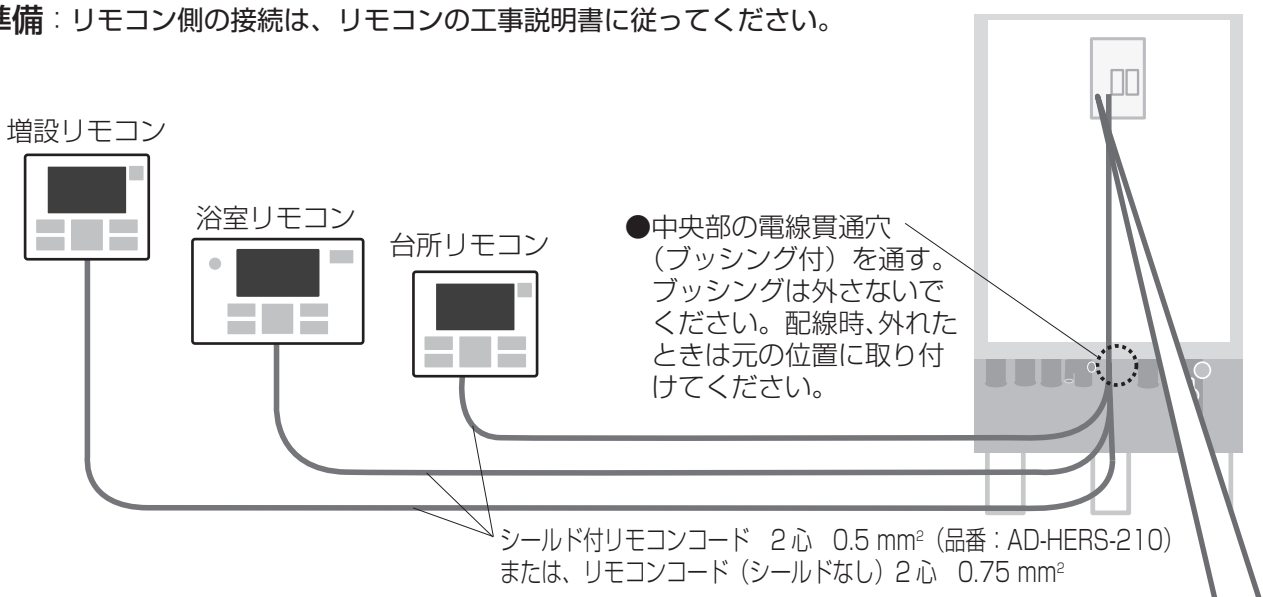


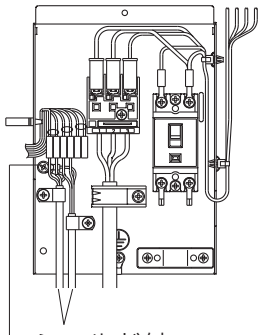
# 配線 2 リモコン配線する



## 貯湯ユニットにリモコンコードを接続する

**準備**：リモコン側の接続は、リモコンの工事説明書に従ってください。




**準備**：リモコンコードを加工する

●心線のむき代寸法　5 mm

（図はシールド付リモコンコードの場合）

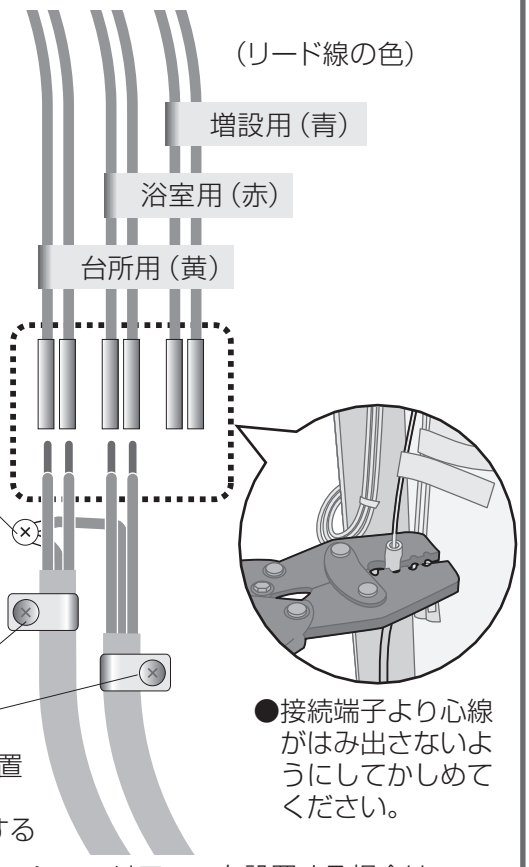
### 1 各リモコンコードをかしめて接続する

●必ずラベルの表示に従って接続してください。

### 2 アース線をリモコンアース用端子ネジで固定する

### 3 リモコンコードを固定する

●コード止め具および固定ネジはリモコンセットに同梱しています。

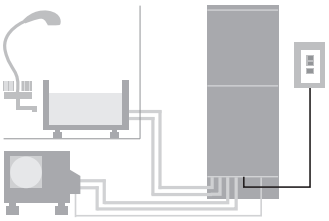



●電磁波の強い場所およびコミュニケーションリモコンを設置する場合は、必ずシールド付リモコンコードを使用してください。

●リモコンコードは短絡しないように接続してください。短絡しているとリモコンが点灯しません。この場合は配線処置後、漏電しゃ断器を切・入してください。

配　線 3

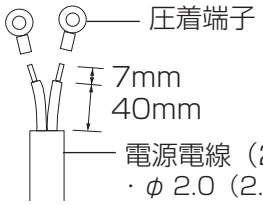
# 電源工事する

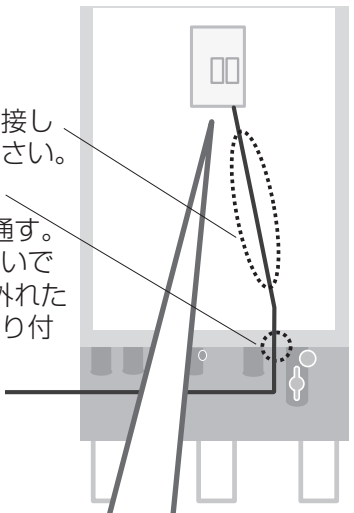


## 200 V 電源工事をする

「電気設備に関する技術基準」および「内線規程」に従って、指定工事業者が行ってください。
（この機種は単相 200V 電源工事が必要です）

**準備：必ず、所定の圧着工具で電源電線に圧着端子をかしめる。**
**（端子は漏電しゃ断器に取り付けられています）**



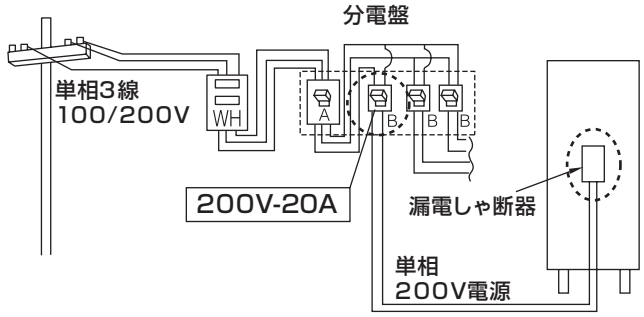

●電力契約が「時間帯別契約」または「季節別時間帯別契約」となっているか確認する。（「深夜電力契約」はできません）

※電気温水器からの買い換え時は、必ず今までの電力契約を確認してください。

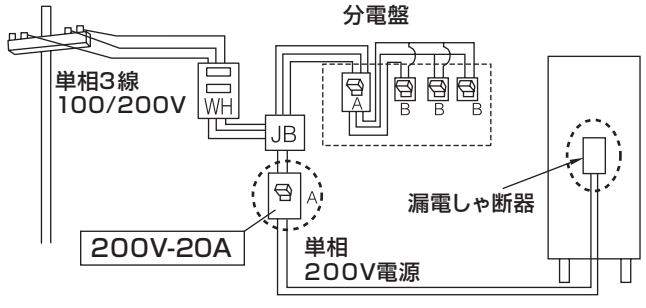
### お願い

●引込み配線方式（A 方式、B 方式）を確認し、これに合わせた配線工事を行ってください。
●ヒートポンプ給湯機専用電源ブレーカー組込みの分電盤の場合は、分電盤より直接配線してください。
●どの電力契約の場合でも電源工事は同じです。

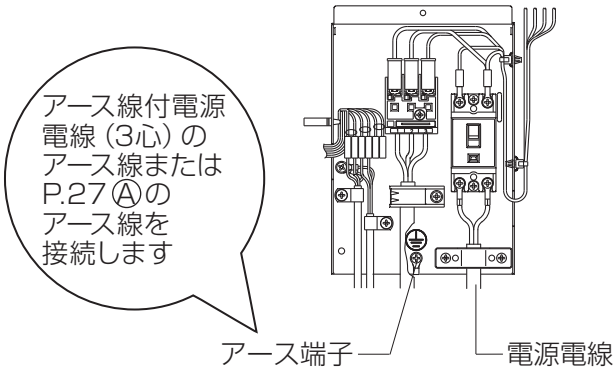
〈A 方式〉



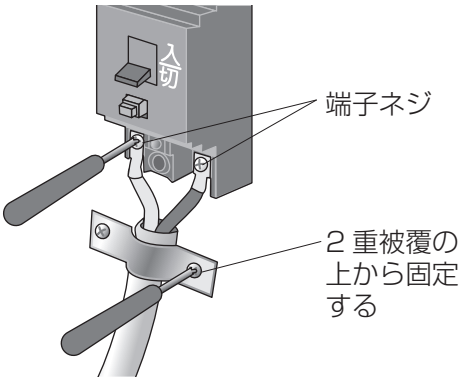

〈B 方式〉




WH：電力量計　A：親配線用しゃ断器　B：配線用しゃ断器　JB：分岐ボックス




### 1 端子と電源電線を固定する

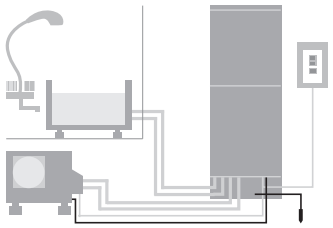



●端子ネジは確実に締めてください。ゆるんでいると過熱して発煙、発火のおそれがあります。

### 2 リモコンコードがかみ込まないように前板を取り付ける

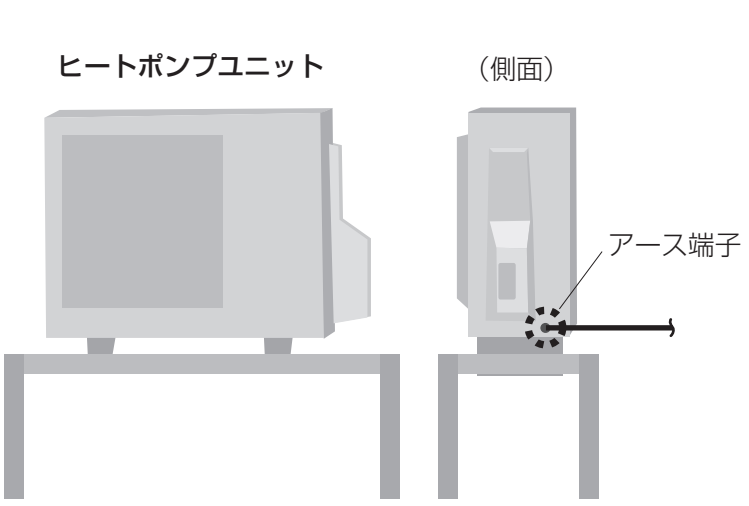
配　線 4

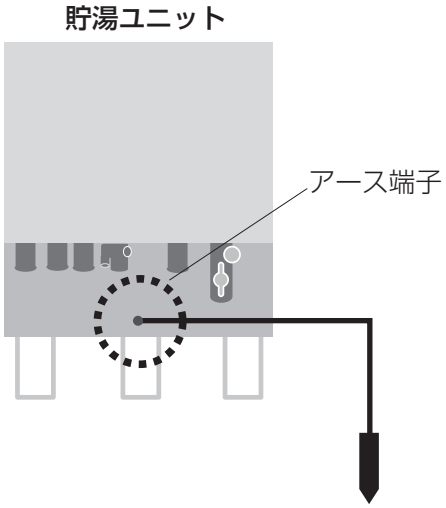
# アース工事する



## アース工事をする

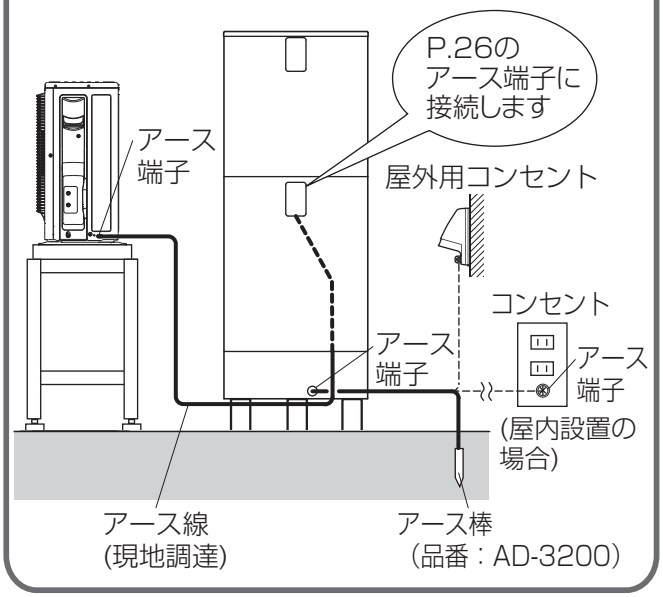
必ず「電気設備に関する技術基準」および「内線規程」に従って電気工事士によるD種接地工事を行ってください。




Ⓐ〈ユニット共通のアース工事をする場合〉

●アース棒を 1 本使用する工事例です。




●アース工事は、Ⓐ図またはⒷ図の方法で確実に行ってください。
●接地抵抗値は 100 Ω以下であることを確認してください。
●コンセントのアース端子を使用する場合は、アース工事されていることを確認してください。

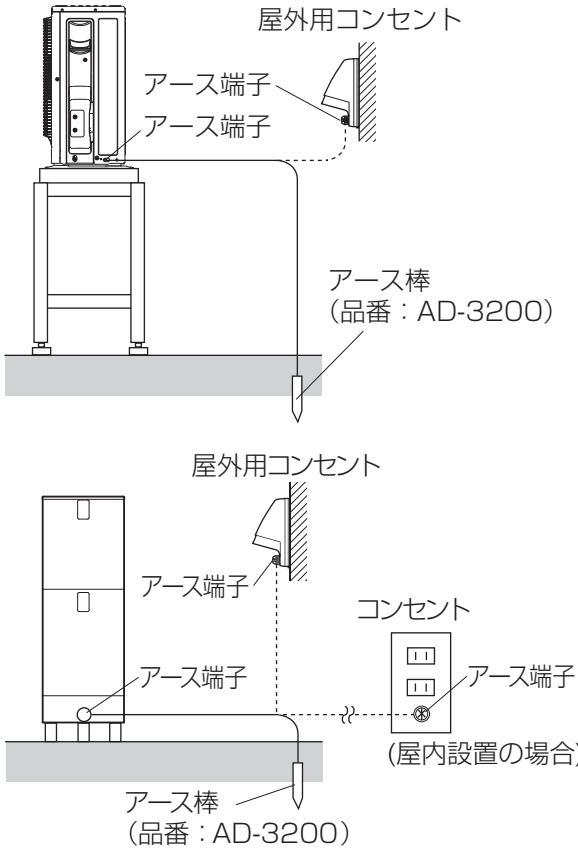
### ⚠警告

**貯湯ユニットおよびヒートポンプユニットのアース工事（D 種接地工事）を行う**
**工事は「電気設備に関する技術基準」および「内線規程」に従って電気工事士が行う**

（故障や漏電のときに感電の原因になります）

Ⓑ〈ユニット個々にアース工事をする場合〉

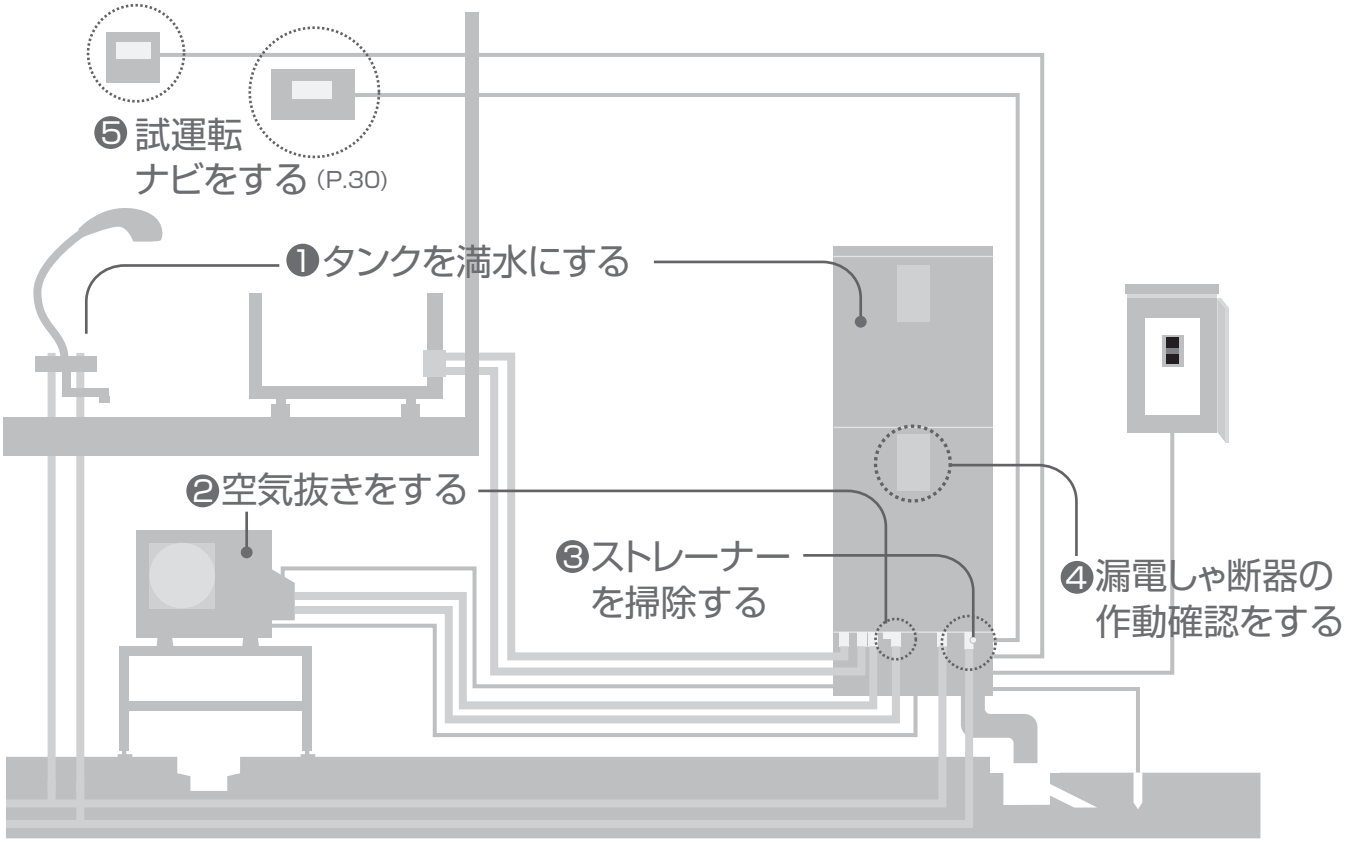
●アース棒を 2 本使用します。




●ガス管や水道管、電話や避電針のアース回路、または漏電しゃ断器を入れた他のアース回路には接続しないでください。
●アース線は、緑色の直径1.6 mm 以上の単線を使用してください。
●アース工事が確実に行われていないと、コミュニケーションリモコンで通話時、異音発生の原因になります。異音が発生する場合はⒷ図の方法で行ってください。

点　検 1

# 試運転する




## ①タンクを満水にする

1 給水栓（青）を開き、しばらく流して閉じる
- ●給水経路のゴミや異物を流し出してください。

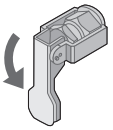
2 排水栓を「閉」にする

3 給水側止水栓を「開」にする

4 逃し弁レバーを上げる

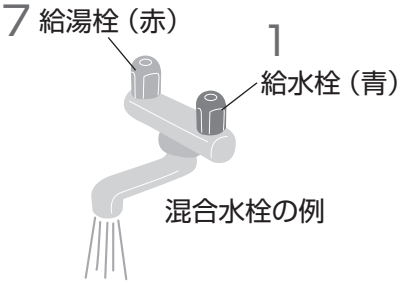
5 排水口または排水配管から水が出ることを確認する
（連続で水が出始めるまで、約30～40分）

6 逃し弁レバーを下げる



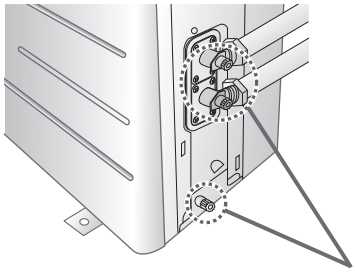
7 給湯栓（赤）を開き、しばらく流して閉じる

8 配管接続部からの水漏れがないか確認する



## ②ヒートポンプユニットの空気抜きをする

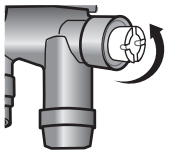
必ず手順に従って空気抜きを行ってください。不十分な場合は、給湯機の故障の原因になります。



ヒートポンプユニット

●カバーの取り外しは「連絡配線する」(P.24)に従ってください。

1 水側バルブ「開」を確認する

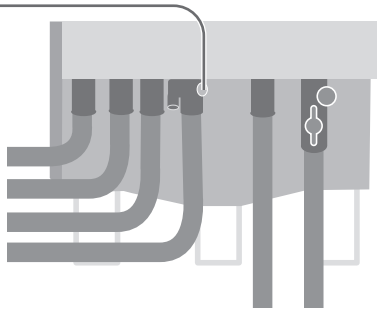


●工場出荷時は「開」になっていますが、念のためにご確認ください。
●中心部の奥にあるネジはさわらないでください。

2 水抜き栓（3 か所）を開く

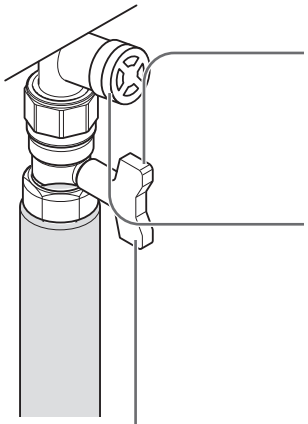
●勢いよく水が出ることを確認する。(1 分以上)
●水抜き栓は抜かないでください。

3 水抜き栓（3 か所）を閉じる

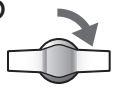


貯湯ユニット

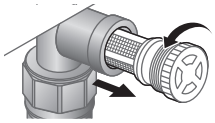
## ③ストレーナーを掃除する



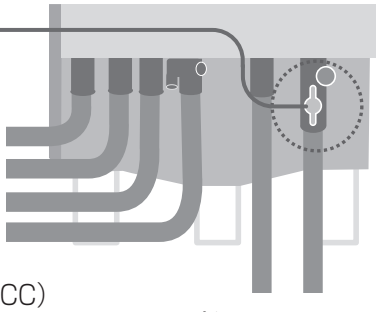
1 給水側止水栓を「閉」にする



2 ストレーナー（フィルター）を外す



●内部配管の水が約30秒間（約200 CC）出てきます。



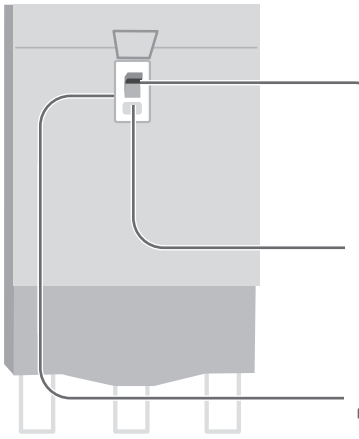
貯湯ユニット

3 ストレーナーを水洗いして戻す

●工事中のごみや異物などがつまっていると、故障の原因になります。

4 給水側止水栓を「開」に戻し水漏れがないか、確認する

## ④漏電しゃ断器の作動確認をする

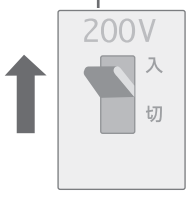


1 配線用しゃ断器を「入」にする

2 漏電しゃ断器を「入」にする

3 テストボタンを押し、漏電しゃ断器が「切」になるか確認する

4 漏電しゃ断器を「入」に戻す




配線用しゃ断器

●外気温が低いと漏電しゃ断器を「入」にしたとき、凍結予防のためのポンプの作動音がする場合があります。（異常ではありません）

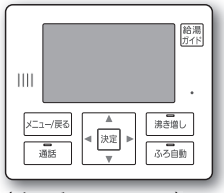
# 試運転する（つづき）

## ⑤試運転ナビをする

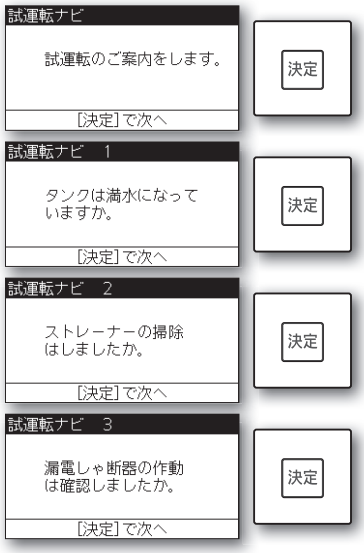
漏電しゃ断器を「入」にすると、リモコンの表示が「試運転ナビ」になります。
漏電しゃ断器を入れた直後は、スイッチ操作を受け付けない場合があります。電源を入れてから 5 秒以上待ってスイッチ操作をしてください。

●試運転ナビを完了するまで、使用することはできません。
●試運転ナビ所要時間は 30 ～ 40 分です。

三角スイッチと決定スイッチ（決定）で操作



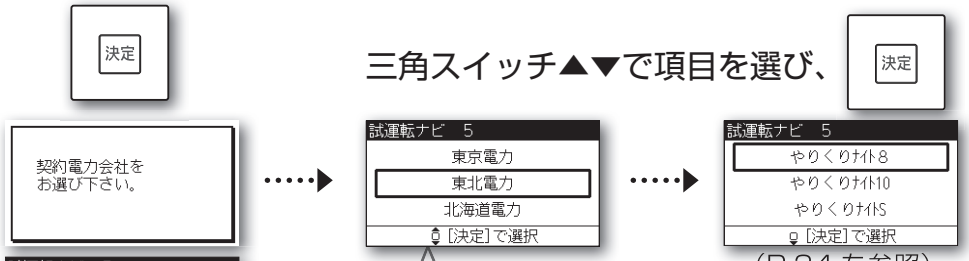
（台所リモコン）




●試運転中、混合水栓から浴そうへお湯はりしないでください。（正常な水位が記憶されません）
●「試運転ナビ 5」までは、メニュー/戻るを押して 1 つずつ戻ることができます。

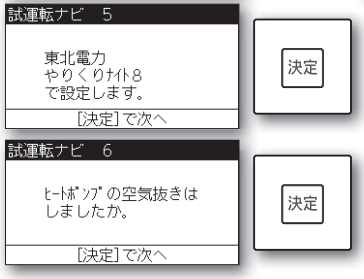
三角スイッチ▲▼で日時を設定して、決定

三角スイッチ▲▼で項目を選び、決定



（P.34 を参照）

地域によって表示が異なります。



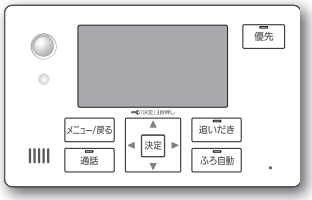

（P.31 へ）

### 試運転中、異常表示が出たら…

1. 漏電しゃ断器を「切」にする
2. 「試運転中、異常表示が出たら…」（P.33）を確認する
3. 処置をする
4. 漏電しゃ断器を「入」にし、再開する

# ⑥ふろ試運転をする

⑤試運転ナビ（P.30）からつづく




（浴室リモコン）

ふろ試運転をします。
浴室リモコンを操作してください。

〈浴室へ移動してください〉

浴そう水を抜いて栓をしてください。
[決定]スイッチで次へ

決定

下記の お願い を参照

・沸き上げ開始時、外気温が高いときは、送風ファンが停止し圧縮機だけがしばらく運転します。
・沸き上げ湯量設定に関係なく沸き上げします。
沸き上げ終了後にも「沸上中」が表示されていることがあります。

ふろ試運転は約180 L 注水します。

沸き上げ試運転中、
ふろ試運転中です。
約３０分かかります。

ふろ試運転完了です。
最少湯量　１００L
[決定]スイッチで次へ

決定

●沸き上げ・ふろ試運転に異常のないことを確認する。
●「沸き上げ試運転中、」の表示が出てから 10 ～ 15 分後、ヒートポンプユニット配管の B（湯側）が熱くなることを確認する。

沸き上げ試運転が早く終わると、表示されません。

試運転ナビ　7
沸き上げ機能を確認中です。

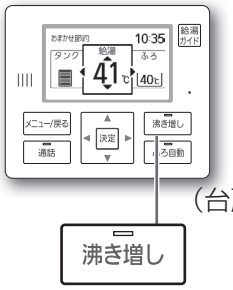
沸き上げ試運転は
正常に完了しました。
[決定]スイッチで次へ

決定

試運転ナビ　8
試運転ナビ完了です。
当日、お湯を使うときは
沸き増しを押してください。

●確実に終了を確認する。
（中止されると、再度電源が入ったとき、再び試運転ナビになります）
●試運転ナビが終了すると通常画面に戻ります。

## ■お客様がその日からお湯を使われるときは




（台所リモコン）

沸き増し

●タンクの水が全量沸き上がるのは、翌朝になります。
お客様がその日からお湯を使われるときは「沸き増しスイッチ」を押して 500L に設定してください。（工場出荷時は 500L に設定されています）

お願い

**■最少湯量表示について**

●ふろ試運転後、浴室リモコンの表示部に最少湯量が表示されます。
湯量は浴そうの大きさや、ふろ接続アダプターの取り付け位置によって変わります。
ふろ接続アダプターが標準寸法（P.20：高さ 100 ～ 150 mm）にある場合、最少湯量表示は標準的な浴そうで 100 ～ 140 L となります。
●試運転時に、浴そうの栓が確実に閉まっていなかったり、閉めるのが遅れた場合、また、ふろ接続アダプターの配管接続部が緩んでいた場合などは、最少湯量は多めに表示されます。
このような場合は、浴そう栓を閉め、ふろ接続アダプターの配管接続部の緩みを確認してから、再度ふろ試運転を行ってください。

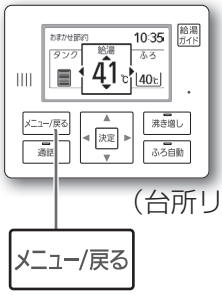
**■磁石を近づけないでください。**

●貯湯ユニットの外装に磁石を貼ったり近づけたりしないでください。
誤動作のおそれがあります。（H25 エラー表示）

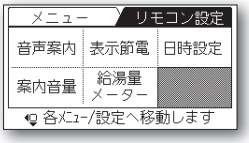
# 試運転する（つづき）

## 再度、試運転を行うには…

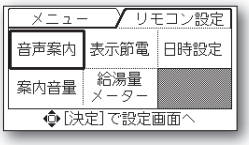
試運転ナビが始まらないときや、登録の変更・追加をするときは、台所リモコンの[メニュー/戻る]から「試運転」を行うことができます。



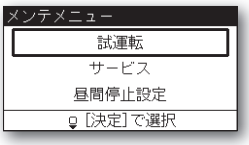

（台所リモコン）



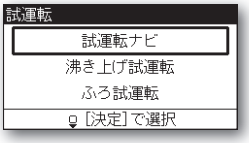

▲ □ ▶ で「リモコン設定」を選び、[決定]




▼ を 10 秒間押す




▲ ▼ で「試運転」を選び、[決定]



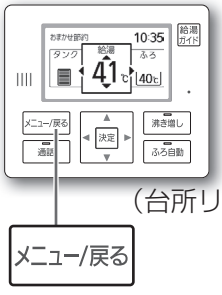

▲ ▼ で項目を選び、[決定]

次の項目の試運転や登録ができます

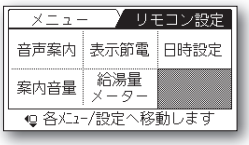
・試運転ナビ　・沸き上げ試運転 *　・ふろ試運転 *
・電力制度設定 *　・空気抜き *　・サービス店 TEL 登録
・ヒートポンプ配管設定 *

・* の項目は、浴室リモコンでもできます。

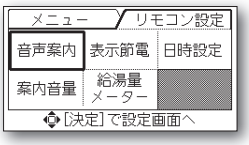
### ■サービス店の電話番号を登録するとき



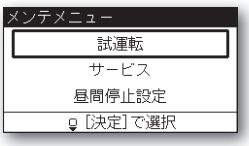

（台所リモコン）



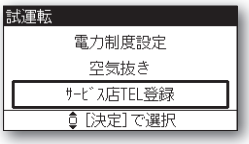

▲ □ ▶ で「リモコン設定」を選び、[決定]




▼ を 10 秒間押す




▲ ▼ で「試運転」を選び、[決定]



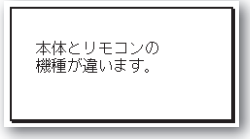
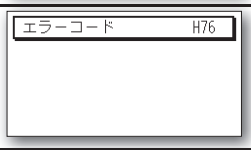
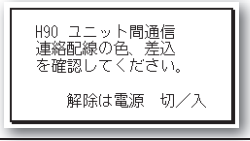
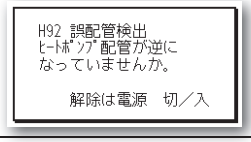
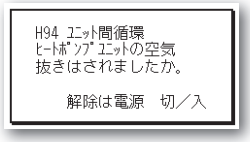
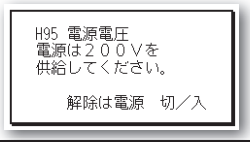
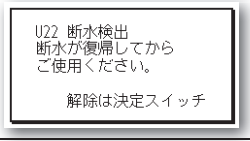
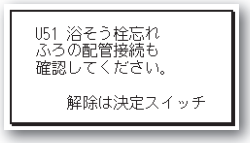
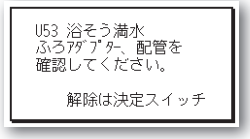

▲ ▼ で「サービス店 TEL 登録」を選び、[決定]

を 2 回押す

▲ ▼ で番号を合わせ、[決定]

## 試運転中、異常表示が出たら…

工事に不具合があると、リモコンに異常を表示して試運転が停止します。
必ず処置をして試運転を完了してください。

| 異常表示 | | 内　容 | 処　置 | 参照 |
|---|---|---|---|---|
| — |  | 貯湯ユニットとリモコンの種類が合っていません。<br>浴室リモコンのみ、この表示が出ることがあります。 | 貯湯ユニットに合ったリモコンに交換してください。<br>台所・浴室リモコンセットを交換してください。 | P.6 |
| H76 |  | リモコンコードの接続に不具合があると表示します。 | リモコンコードの接続を確認し、補修してください。 | P.25 |
| H90 |  | 貯湯ユニットとヒートポンプユニット間の連絡線（3心・VVFケーブル）接続に不具合があると表示します。 | 連絡線の接続（色）や差込状態を確認して補修してください。 | P.24 |
| H92 |  | 貯湯ユニットとヒートポンプユニット間のA（水側）配管とB（湯側）配管の接続が逆になっていると表示します。 | ユニットのA、B表示を確認して、A－A、B－B接続してください。 | P16,17 |
| H94 |  | ユニット間の循環系に不具合があると表示します。<br>・ヒートポンプユニットの空気抜きが不十分<br>・水側バルブが「閉」になっている | ・空気抜きをしてください。<br>・水側バルブを全開にしてください。 | P.29 |
| H95 |  | ＡＣ 100 Ｖ電源に接続されている場合に表示します。 | ＡＣ 200 Ｖ電源に接続してください。 | P.26 |
| U22 |  | 断水していると表示します。<br>次の場合も表示します。<br>・給水側止水栓が「閉」<br>・ストレーナー（フィルター）の目詰まり | ・給水側止水栓を「開」にしてください。<br>・ストレーナーを掃除してください。 | P.29 |
| U51 |  | 浴そう栓やふろ循環系に不具合があると表示します。<br>・浴そうの栓忘れや栓の浮き<br>・ふろ配管の詰まり、折れ、つぶれ<br>・長配管接続<br>・ふろ循環ポンプ水抜き栓のゆるみ | ・確実に浴そうの栓をしてください。<br>・ふろ配管を確認し補修してください。<br>・配管長を確認し補修してください。<br>・確実に水抜き栓を閉めてください。 | P.18,19 |
| U53 |  | ふろ配管接続部の締め付け不足やパッキンの忘れ、パッキンの損傷、ふろ循環ポンプ水抜き栓のゆるみなどにより水漏れがある場合、表示します。<br>※ふろ接続アダプターが専用別売部材でない場合も表示することがあります。 | ・接続部やパッキン、水抜き栓を確認し補修してください。<br>**※専用のふろ接続アダプターを使用してください。** | P.18,19<br>※ P.7 |
| — | | リモコンが表示しない、または表示したりしなかったりするときは<br>・リモコンコードの短絡、断線<br>・リモコンコードの接続部接触不良<br>・電源系（ＡＣ 200 Ｖ）の不具合 | ・リモコンコードの補修をしてください。<br>・接続部を確認し補修してください。<br>・AC200V電源を確認してください。 | P.25,26 |

●その他の異常表示が出たときは、前板裏面に貼付のサービス説明書（自己診断表示）を参照してください。

# 試運転する（つづき）

## 各電力会社別電力契約と対応電力制度表示

ご契約の電力料金契約に合わせて、対応する電力制度を選んで設定してください。（P .30）　●：対象

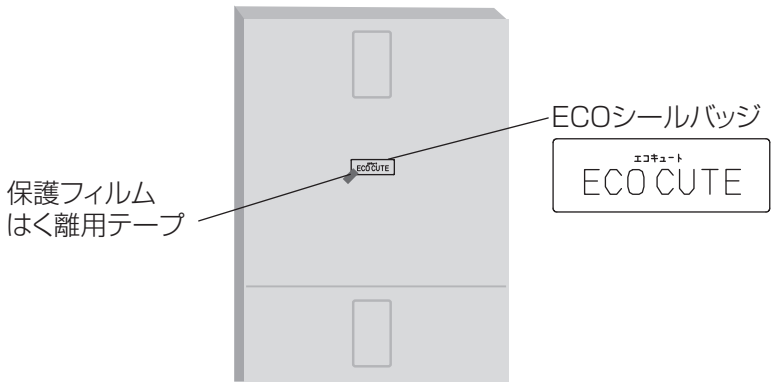
| 電力会社名 | 名　称 | 深夜時間帯 | 対応電力制度（直接設定） | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | H08 | H09 | H17 | F08 | B08 | H16 | H18 | H10 | H19 | o17 | o08 | H20 |
| 北海道電力 | eタイム3 | 22：00~8：00 | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | ● |
| | ドリーム8 | 22：00~6：00 | － | － | － | ● | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | | 23：00~7：00 | ● | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | | 0：00~8：00 | － | － | － | － | ● | － | － | － | － | － | － | － |
| | ドリーム8エコ | 22：00~6：00 | － | － | － | ● | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | | 23：00~7：00 | ● | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | | 0：00~8：00 | － | － | － | － | ● | － | － | － | － | － | － | － |
| 東北電力 | やりくりナイト8 | 23：00~7：00 | ● | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | やりくりナイト10 | 22：00~8：00 | － | － | － | － | － | － | － | ● | － | － | － | － |
| | やりくりナイトS | 22：00~8：00 | － | － | － | － | － | － | － | ● | － | － | － | － |
| 東京電力 | おトクなナイト8 | 23：00~7：00 | ● | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | おトクなナイト10 | 22：00~8：00 | － | － | － | － | － | － | － | ● | － | － | － | － |
| | 電化上手 | 23：00~7：00 | － | － | ● | － | － | － | － | － | － | － | － | － |
| 中部電力 | タイムプラン | 23：00~7：00 | ● | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | Eライフプラン | 23：00~7：00 | － | － | － | － | － | ● | － | － | － | － | － | － |
| 北陸電力 | エルフナイト8 | 23：00~7：00 | ● | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | エルフナイト10 | 22：00~8：00 | － | － | － | － | － | － | － | ● | － | － | － | － |
| | エルフナイト10プラス | 22：00~8：00 | － | － | － | － | － | － | － | － | ● | － | － | － |
| 関西電力 | 時間帯別 | 23：00~7：00 | ● | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | はぴeタイム | 23：00~7：00 | － | － | ● | － | － | － | － | － | － | － | － | － |
| 中国電力 | エコノミーナイト | 23：00~8：00 | － | ● | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | ファミリータイム | 23：00~8：00 | － | － | － | － | － | － | ● | － | － | － | － | － |
| 四国電力 | 得トクナイト | 23：00~7：00 | ● | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 電化Deナイト | 23：00~7：00 | ● | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － |
| 九州電力 | 時間帯別 | 23：00~7：00 | ● | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | よかナイト10 | 22：00~8：00 | － | － | － | － | － | － | － | ● | － | － | － | － |
| | 電化deナイト | 22：00~8：00 | － | － | － | － | － | － | － | － | ● | － | － | － |
| 沖縄電力 | 時間帯別 | 23：00~7：00 | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | ● | － |
| | Eeらいふ | 23：00~7：00 | － | － | － | － | － | － | － | － | － | ● | － | － |

リモコンの電力制度表示部に「H21」、「H22」を表示しますが、対応電力制度はありません。　（2011 年 10 月現在）

**お願い**

●貯湯ユニット前板のECOシールバッジには、保護フィルムが付いています。お引き渡しまでには、必ずはがしてください。

フィルムを付けたままにしておくと、フィルムが劣化して、はがしにくくなることがあります。



# リモコンの確認

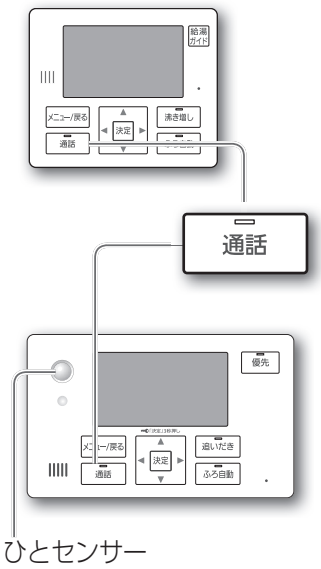
## ■ 表面の青色の保護シートが、はがされていることを確認してください。

## ■ 通話確認（コミュニケーションリモコンのみ）

●コミュニケーションリモコンは「通話」が使用できるかご確認ください。
通話確認をする場合は、浴室の扉、窓を閉めて行ってください。
（浴室の扉、窓を開けたまま通話確認を行うと、ハウリングする場合があります）

●浴室の扉を閉めてもハウリングする場合は、台所リモコンを浴室リモコンから離して設置してください。台所リモコンを離れた場所に設置できない場合、ハウリングしないように通話音量を下げて使用するなどの対処法を、お客様にお伝えください。

●玄関ドアホンや浴室テレビなどの近くに設置していたり、近くに配線がある場合、ノイズが発生することがあります。

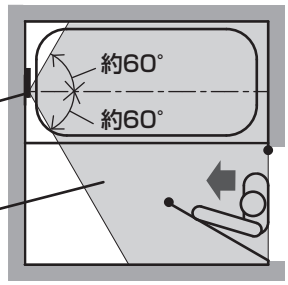



## ■ ひとセンサーの検知確認

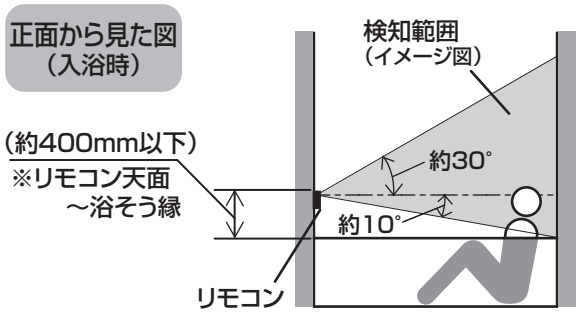
浴室に人が入ったときや、入浴中に浴室リモコンの画面表示部のバックライトが点灯することを確認してください。

### 推　奨　例

上から見た図（入室時）



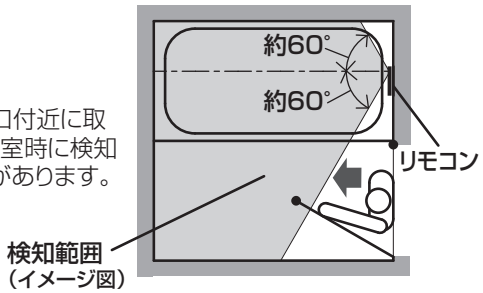

正面から見た図（入浴時）




### 検知しにくい例

上から見た図（入室時）

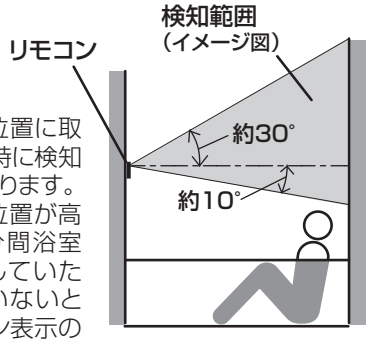
●リモコンを入口付近に取り付けると、入室時に検知しにくい場合があります。




正面から見た図（入浴時）

●リモコンを高い位置に取り付けると、入浴時に検知しにくい場合があります。

●リモコンの取付位置が高い場合や、約5分間浴室内で人がじっとしていた場合など、人がいないと判断して、リモコン表示のバックライトが消えることがあります。




お願い

- **リモコンの取付方法は、リモコンの工事説明書に従ってください。**
- 直射日光のあたるところに取り付けると、窓の外の木々の揺れなどで日光がさえぎられて、人を正しく検知しないことがあります。必要時、窓に遮光対策をして直射日光が当たらないようにしてください。

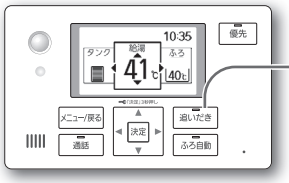
# 点検2 水抜きする

## 水抜きする

●お引き渡しまでに凍結のおそれがあるときは、浴そうに水をはり、電源を「入」にしておいてください。
（自動的に凍結予防運転をします）
電源を「切」にする場合は、以下の手順で水抜きを確実に実施してください。
**※凍結による修理は保証の対象外です。ご注意ください。**
●お引渡しまでに長い期間（1 か月以上）があるときは、タンク内を清潔に保つため、水抜きをしてください。

### ふろ配管

**1** 浴そうを空にして
ふろ配管に残った水を抜く（浴室リモコン）

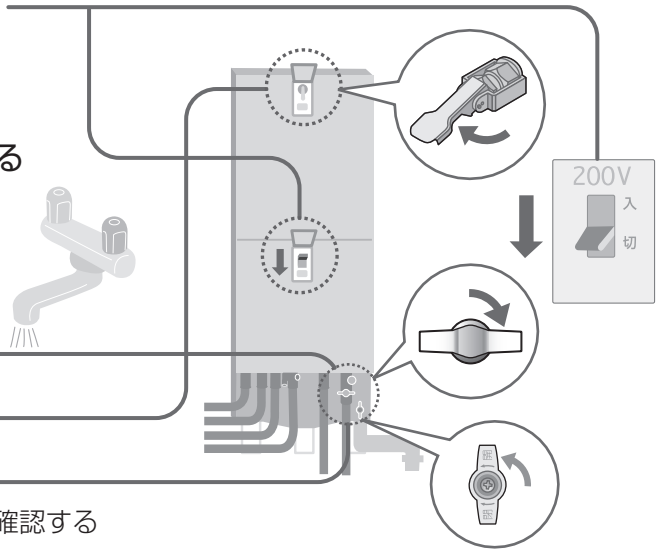


ふろ接続アダプターから水が出なくなったら…

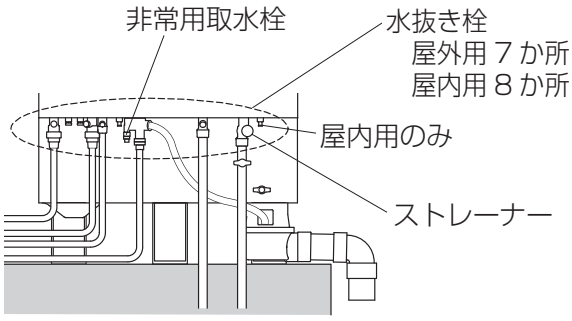
### 貯湯ユニット・ヒートポンプユニット

**2** 配線用しゃ断器（ブレーカー）と
漏電しゃ断器（貯湯ユニット）を
「切」にする

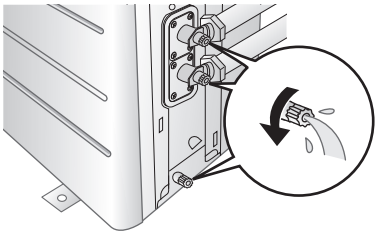
**3** 貯湯ユニット内の水を全て排水する
①混合水栓のお湯側と水側を開き、
熱いお湯が出なくなるまで出す
②水側を閉める
③給水側止水栓を閉じる
④逃し弁レバーを上げる
⑤排水栓を開き、排水する（約 1 時間）
⑥排水配管から水が出なくなったことを確認する
⑦混合水栓のお湯側を閉じる




**4** 配管などに残った水を抜く
●貯湯ユニットの水抜き栓、非常用取水栓を
左に回してゆるめる
ストレーナーは、はずす
続けて、ヒートポンプユニットの水抜き栓
（3 か所）を開く
●配管途中に水抜きバルブを取り付けている
ときは、開けてください。（P.23）




**5** 水が出なくなったら…
①排水配管と全ての水抜き栓から、水が出な
くなったことを確認する
②貯湯ユニットの水抜き栓、非常用取水栓を
閉め、ストレーナーを取り付ける
③排水栓を閉じる
④逃し弁レバーを下げる
⑤ヒートポンプユニットの水抜き栓（3 か所）
を閉める
●配管途中の水抜きバルブを開けたときは、
閉じてください。（P.23）



●カバーの取り外しは「連絡配線する」
（P.24）に従ってください。
●水抜き栓は外さないでください。

# 点検3 チェックシート

## 【工事チェック】

### 据付

チェック

- □ ①近くにガス類容器や引火物を置いていませんか。
- □ ②工事説明書に従って点検スペースを確保していますか。
- □ ③貯湯ユニットの質量に十分耐え、騒音や振動が増大しない場所に設置していますか。
- □ ④床に防水処理、および漏水時の排水処理をしていますか。
- □ ⑤貯湯ユニット脚部は、M12 のアンカーボルトで固定していますか。
- □ ⑥ 2 階以上に設置する場合、貯湯ユニット上部を強度のある壁に固定していますか。
  （同梱の振れ止め金具を使用の場合）

〈据付工事店様記入〉

| 据付工事店名 | | 電話番号 | | 担当者名 | |
|---|---|---|---|---|---|

### 配管

チェック

- □ ①水道水を使用していますか。（井戸水は使用不可）
- □ ②タンク排水時、排水エルボや排水溝より水があふれませんか。
- □ ③排水経路には、5 cm 以上の吐水口空間がありますか。
- □ ④ヒートポンプユニットの排水処理をしていますか。
- □ ⑤給水配管に給水側止水栓が取り付けられていますか。
- □ ⑥工事説明書に従った配管径、配管長、曲がりで配管工事をしていますか。
- □ ⑦ヒートポンプユニット配管は、A—A、B—B 正しく接続していますか。（逆接続すると H92 エラー表示）
- □ ⑧ヒートポンプユニット配管はツインチューブではなく独立した配管にしていますか。
- □ ⑨ふろ接続アダプターは専用別売部材を使用していますか。
- □ ⑩保温工事は、適切に行っていますか。
  給水・給湯配管、ヒートポンプユニット配管、ふろ配管に断熱材を巻いていますか。
- □ ⑪外部配管は、凍結予防ヒーターを巻いていますか。

〈据付工事店様記入〉

| 据付工事店名 | | 電話番号 | | 担当者名 | |
|---|---|---|---|---|---|

### 配線

チェック

- □ ①電源は 200 V 配線をしていますか。（誤って 100 V 配線をすると H95 エラー表示）
- □ ②電源電線の端子ネジは確実に締まっていますか。（ゆるんでいると過熱して発煙、発火のおそれ）
- □ ③貯湯ユニットおよびヒートポンプユニットのアース工事は適切に行っていますか。
- □ ④専用の配線用しゃ断器（ブレーカー）が取り付けられていますか。
- □ ⑤ユニット間の連絡線は確実に接続されているか確認しましたか。
  （接続不良の場合、過熱して発煙、発火のおそれ、H90 エラー表示）

〈据付工事店様記入〉

| 据付工事店名 | | 電話番号 | | 担当者名 | |
|---|---|---|---|---|---|

# 点検3 チェックシート（つづき）

**点検**

チェック

- □ ①タンクを満水にし、水漏れがないかを確認しましたか。
- □ ②ストレーナー（フィルター）の掃除をしましたか。
  （配管工事のごみなどがストレーナーにつまり、流量低下する場合があります）
- □ ③ヒートポンプユニットの空気抜きをしましたか。（空気抜き不十分のとき、H94 エラー表示）
- □ ④漏電しゃ断器は、正常に作動しますか。
- □ ⑤ヒートポンプ配管の A（水側）の水側バルブが「開」になっていますか。
  （「閉」のとき、H94 エラー表示）
- □ ⑥試運転ナビを行い、異常がありませんでしたか。
- □ ⑦ヒートポンプユニットや架台から異常な音がしたり、離れた場所で耳障りな反射音が生じていませんか。
- □ ⑧ふろ試運転後に表示される最少湯量の値は、正常な範囲でしたか。
- □ ⑨お客様の電力会社との契約の設定になっていますか。（試運転ナビで設定）
- □ ⑩リモコンの時刻は合っていますか。（正しく合わさないと、沸き上げ開始時刻が変わってきます）
- □ ⑪ふろ循環中に水漏れ、エアーがみしていないか確認しましたか。
  （最少湯量が大きくなったり、設定した湯量にならずに浴そうのお湯があふれる場合があります）
- □ ⑫お湯や水を止めたとき、衝撃音（ゴン・コンという音）や振動を生じる現象はありませんか。
  お湯や水を急に止めたときに起こりやすい現象で「ウォーターハンマー（水撃音）現象」といいます。水圧が高いときや流速が早いとき等に発生しやすくなります。このような場合は水撃防止装置を取り付けるか、ウォーターハンマー低減機構付きシングルレバー型および一時止水機構付きの混合水栓のご使用をおすすめします。取り付け・交換はお客様のご意向に沿って行ってください。
- □ ⑬サービス店 TEL 登録をしましたか。
- □ ⑭凍結のおそれがある場合、電源は「入」になっていますか。電源を切る場合は、「水抜きする」（P.36）に従い、水抜きを行いましたか。（冬期工事時）
- □ ⑮リモコンは、リモコンの工事説明書に従い確実に固定されていますか。

**〈据付工事店様記入〉**

| 据付工事店名 | | 電話番号 | | 担当者名 | |
|---|---|---|---|---|---|

## 【工事チェック】が終わったら

## お引き渡しする

■ お引き渡しの際は…

● 取扱説明書をお読みいただき、お客様に次の説明をしてください。
- ・漏電しゃ断器、配線用しゃ断器、給水側止水栓（給水元栓）の場所
- ・水抜きバルブの場所（配管途中に水抜きバルブが取り付けられている場合）
- ・非常用取水栓の使用法
- ・安全上の注意
- ・定期点検について
- ・タオル、浴そうなどが青くなることがある
- ・リモコンの操作方法と各種設定

●お客様のご希望に合わせて、「ふろ温度・ふろ湯量」を設定してください。

●お客様がその日からお湯を使われるときは「沸き増しスイッチ」を押してください。（何もしなければタンクの水が全量沸き上がるのは、翌朝になります）

●保証書に所定事項（販売店・工事店名印、据付年月日など）を記入し、取扱説明書、ご使用ガイド、工事説明書と一緒にお客様にお渡しください。
※保証書への記入がないと、無料修理をお引き受けできないことがあります。

## 水栓や配管の修理・交換時には…

①漏電しゃ断器を「切」にする。

②給水側止水栓を閉じる。

③混合水栓からお湯が出ないことを確認してから修理や交換をする。

■お湯が止まらないときは…

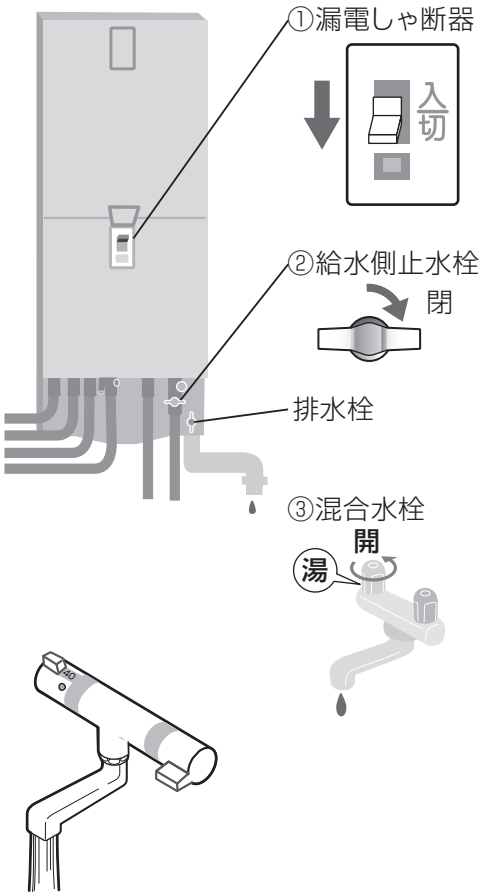
給湯機の特性上、給水側止水栓を閉じても最大で約 50L のお湯が出る場合があります。（最長 1 時間）この場合、次の要領で短時間にお湯を止めることができます。

1）排水栓を開けて、5 分以上排水してください。

2）排水栓を閉じた後、該当の箇所のお湯が止まるまでお待ちください。

●混合水栓は逆流防止弁付を使用してください。
（湯水混合水栓の給水側から給湯側に逆流すると貯湯ユニットの逃し弁から常時水が漏れます）

●浴室の水栓は、サーモスタットタイプ（自動温度調節機能付）の混合水栓を、お使いください。






パナソニック株式会社　エアコンビジネスユニット
〒525-8520　滋賀県草津市野路東2丁目3番1-1号
© Panasonic Corporation 2013
F615897
S0113T0